

ALCFaceVital



<取扱説明書>

 **サンコーテクノ株式会社**

■はじめに

このたびは、呼気アルコール検知システム ALCFaceVital をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、呼気アルコール検知器 ST-3000 と ALCFaceVital の組み合わせにより、呼気中のアルコール濃度の測定と検温が同時にできるソフトになっております。

- ・ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、保証書とともにいつでも見られる所に大切に保管してください。
- ・検知器本体の取り扱いに関しては、呼気アルコール検知器 ST-3000 の取扱説明書をご参照ください。
- ・製品の仕様、性能、外観は改良のために予告無く変更することがあります。

■保証と責任範囲

弊社は納入した本検知システムに対して1年間の保証をいたします。保証期間中に、弊社の責任内で故障が生じた場合は、修理または部品の交換を無償で行います。ただし、保証期間内であっても、次に該当する故障の場合は保証対象外とさせていただきます。

- ① 当社以外による改造、修理に起因した故障
- ② 操作ミスによる故障
- ③ 不適切な環境で使用されたことによる故障
- ④ 災害等による故障
- ⑤ 弊社の責任外の事故による故障

本取扱説明書に記載されている禁止事項を守らなかったり、誤った操作手順で生じた検知器の破損や事故に関しては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約

サンコーテクノ株式会社（以下、「弊社」）は、正式に使用を許可したお客様に対して、本ソフトウェア使用許諾契約（以下、「本契約」）に同意されることを条件として、弊社が提供するソフトウェア製品（以下、「本製品」）およびそのプログラム（以下、合わせて「本プログラム」）の使用を許諾致します。お客様が本製品のご使用（インストールを含む）を開始した時点で、本契約に同意頂いたものとみなします。

第1条（権利） お客様は、本契約の条項に従い本プログラムを使用する非独占的な権利を、本契約に基づいて取得します。

2 お客様は、本プログラムを弊社により認められた適法な範囲においてのみ使用することができます。

3 本製品に含まれるすべてのプログラムおよびその付帯物に対する特許権、著作権等の知的所有権は弊社に帰属します。

第2条（使用条件） お客様は、お客様自身の業務において、お客様が雇用する従業員の呼気に含まれるアルコール濃度を測定し、同時に測定者名、測定日時、測定結果、測定時の画像等を管理する目的でのみ本製品および本プログラムを使用することができ、かかる目的以外には使用しないものとします。

2 お客様は、本プログラムを1台のコンピューターにインストールして使用することができます。なお、弊社が本製品に一定の機能制限や試用期間制限を設けている場合は、当該制限に従ってご使用いただくこととなります。

3 本製品および本プログラムの使用者は、お客様およびお客様が雇用する従業員のみとします。なお、お客様が、子会社を含む関係会社、業務委託先等、当該従業員以外の者に本製品および本プログラムを使用させることを希望する場合には、あらかじめ弊社の承諾を得ることが必要となります。この場合弊社は、不合理な拒否は致しません。

4 本製品および本プログラムを使用することのできる場所は、日本国内に限ります。

第3条（禁止事項） お客様は、本契約で許諾されている場合を除き、以下の行為を行うことはできません。

- ① 本プログラムの複製、配布、並びにマニュアル、カタログ等、関連資料の複製、翻訳、配布
- ② 本製品並びに本プログラムの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル
- ③ 本製品並びに本プログラムの全部または一部の再配布、使用許諾、公開
- ④ 本製品並びに本プログラムの貸与、譲渡、レンタル、中古品取引
- ⑤ 権利保護を目的に予め設定された技術的な制限の解除、無効化、および当該方法の公開

第4条（サポート、品質保証） 弊社は、正式に使用を許可したお客様に対して、本製品および本プログラムが弊社の指定した環境において正常に稼働することを保証致します。また、オンラインおよび記録媒体（SD、USB、HDD、CD、DVD等）を通して提供した本製品に誤りがある場合は、交換対応を致します。

2 本製品および本プログラムの性能改善のため、お客様の事前の同意なしに、パッチ適用またはアップデートを実施することがあります。

3 弊社は、本製品および本プログラムに対するサポートサービスを、販売時の契約に準じて実施致します。お客様は、本製品並びに本プログラムに障害が発生した場合は、弊社のサポートサービスをご利用いただけます。

4 前項に関わらず、試用版の本製品（お試し版、見本、サンプル、使用期間制限版を含む）は、サポートサービスの対象外となります。

非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）

第5条（免責） 本製品および本プログラムの使用により、万が一ハードウェア機器もしくはデータ等に支障が生じた場合でも、弊社は一切その責任を負いません。お客様自身で本プログラムのインストール作業を行う場合も同様とします。

2 本製品および本プログラムについて、第三者との間で著作権その他知的財産権上の紛争、製造物責任法に基づく紛争等が生じた場合といえども、弊社は一切その責任を負いません。

3 上記の他、本製品および本プログラムの使用に関して、お客様またはお客様の顧客に何らかの損害が生じた場合でも、弊社は一切その責任を負いません。

第6条（責任制限） お客様に対する弊社の損害賠償責任は、契約や不法行為（過失を含む）などの原因を問わず、いかなる場合にも本製品および本プログラムに対してお支払いいただいた金額を上限とします。この損害賠償責任の制限は、第4条で規定した保証がその本質的な目的を達成できない場合にも適用します。

第7条（情報の取扱い） お客様は、弊社が本製品および本プログラムの品質向上（サポートの品質向上を含む）を目的として、本プログラムがインストールされているコンピューターの情報の開示をお客様に求め、弊社自ら当該情報を収集し、検討、分析する場合がありますことあらかじめ同意頂いたものとみなします。ただし、弊社は収集、検討、分析を行う情報についてお客様を特定できる情報と関連付けることは致しません。

第8条（契約の期間） 本契約は、本プログラムのインストール、もしくは本製品の使用を始めたときから発効し、第8条により本契約が終了するまで有効となります。

第9条（契約の終了） お客様は、弊社宛に書面による事前通知を行うことにより、いつでも本契約を終了させることができます。

2 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。この場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

第10条（通知） 弊社がお客様に対し、本契約および本製品、本プログラムに関連して通知をする場合は、書面、電子メール、弊社HPへの掲載その他弊社が適当と判断する方法にて行います。

第11条（協議） 本契約に定めのない事項または解釈に疑義を生じた事項については、弊社およびお客様との間で誠意をもって協議し、解決するものとします。

第12条（その他） 本契約の成立、効力、履行および解釈に関しては、日本法が適用されます。

2 本契約に関する紛争の第一審の合意管轄裁判所は、東京地方裁判所とします。

目次

◇第1部 既存のお客様、新規のお客様初めにやっていただくこと

第1章 Wifi 接続設定

1-1. Vital 本体取り付け設定	8
1-2. Wi-Fi 接続設定	10
1-3. プロキシ設定	13
1-4. Wifi 固定 IP アドレス設定	15

◇第2部 すでに ALC Guardian シリーズをお使いいただいているお客様

第1章 ソフト設定

1-1. Vital バージョンアップ設定	18
1-2. カメラ設定	21
1-3. 生年月日の入力（バイオリズムを表示したい場合）	23

◇第3部 新規で ALC Guardian Vital をお使いいただくお客様

第1章 ドライバー・ソフトのインストール

1-1. インストール前のご確認	24
1-2. アルコール検知器 ST-3000 用ドライバーのインストール	25
1-3. IC 免許証リーダー用ドライバーのインストール	27
1-4. Vital インストール方法	30

第2章 電源オプションの設定確認と変更

2-1. 電源オプションの設定	32
2-2. スクリーンセーバーの設定変更	34

第3章 画面構成

3-1. 環境設定	35
3-1-1. グループ表示設定	38
3-1-2. ユーザー設定	39
3-1-3. メール設定	41
3-1-4. カメラ設定	42
3-1-5. パスワード設定（任意）	43

第4章 初期設定

4-1. 環境設定	44
4-1-1. 基本設定	45
4-1-2. ALCGuardianSV 設定（一元管理ソフト ALCGuardianSV をご利用の場合）	46
4-1-3. IT 点呼設定（IT 点呼 ALCGuardianNet をご利用の場合）	46
4-1-4. CSV 出力設定（デジタコ連携）	47
4-1-5. 免許証設定（オプション品の IC 免許証リーダーをご利用の場合）	48
4-1-6. カメラ設定	52
4-1-7. その他設定	54
4-2. ユーザー設定	56
4-2-1. ユーザーの登録方法	58
4-2-2. ユーザーの検索方法	59
4-2-3. グループ検索方法	60
4-2-4. 行挿入の方法	60
4-2-5. CSV 出力の設定	61
4-2-6. CSV 取込の方法	62
4-2-7. ユーザー設定の印刷方法	64
4-2-8. PIN1 チェックの方法	64
4-3. メール設定	66
4-3-1. 送信テストの方法	68
4-4. パスワード設定（任意）	69
4-4-1. パスワードの設定方法	69
4-4-2. パスワードを変更する場合	69

◇第4部 測定方法・エラーについて

第1章 測定方法

1-1. 測定前に確認すること	70
1-1-1. 呼気アルコール検知器 ST-3000	70
1-1-2. 非接触検温システム Vital	70
1-1-3. IC 免許証リーダー（IC 免許証リーダーをご利用の場合）	70
1-1-4. テンキー（テンキーを利用し、ID 入力する場合）	71
1-2. 測定開始	71
1-3. 測定終了	72
1-3-1. アルコールが検出されなかった場合	72
1-3-2. アルコールが検出された場合	73
1-4. 測定結果の表示	73

第2章 出力方法	
2-1. 印刷	7 4
2-1-1. 「測定日」による条件設定で印刷する場合	7 4
2-1-2. 「ID」による条件設定で印刷する場合	7 6
2-2. 画像付き印刷	7 8
2-3. CSV 出力	7 9
2-4. ALCGuardianSV 送信（一元管理ソフト ALCGuardianSV をご利用の場合）	8 0
第3章 エラーについて	
3-1. Vital エラー項目	8 1
3-2. よくある質問	8 3
3-3. 検知器本体のエラー番号	8 4
第4章 バイオリズムについて	
4-1. バイオリズムとは	8 5
4-2. 3つのリズム	8 5
4-3. 判断基準	8 5
第5章 ご利用上の注意点	
5-1. 測定に影響ある事項	8 6

◇第1部 既存のお客様、新規のお客様初めにやっていただくこと

第1章 Wifi 接続設定

1-1. Vital 本体取り付け設定

①アルコール検知器 ST-3000 を箱から取り出し、本体、ACアダプタをセットします。

※センサーモジュールはこの段階では取り付けしません。

すでにお使いいただいているお客様は、アルコール検知器 ST-3000（以下 ST-3000）本体に WEB カメラ、カメラステーがついている場合は外します。

※外した WEB カメラ、カメラステーは使用しません。

②ST-3000 本体の後ろ側についている電源スイッチをオフにします

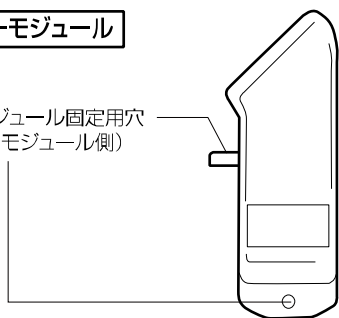


③プラスドライバーを使ってねじを2か所外し、センサーモジュールを本体から取り外します。

各部の名称

センサーモジュール

センサモジュール固定用穴
(センサーモジュール側)



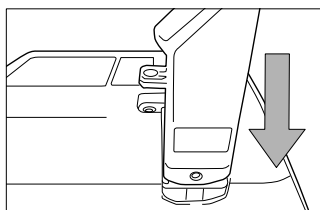
④ST-3000 の後ろ側から、ALC Face Vital（以下 Vital）をスライドさせるように取り付けます。



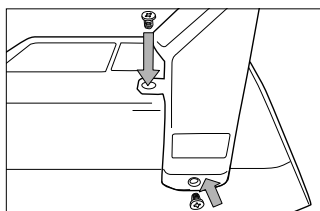
⑤取り外していたセンサーモジュールをつけ直して、ねじを締めます。

⚠ 注意

- センサーモジュールはコネクタの接続を確保するために固めの設計です。
▶センサーモジュールの着脱時には指など怪我に注意してください。



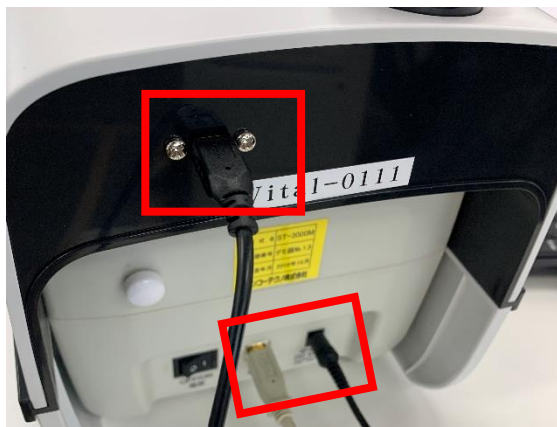
1. センサーモジュールのガイドに沿ってスライドさせコネクタにしっかり差し込む。



2. センサーモジュール固定用ネジで本器に固定する。(2ヶ所)

以上でセンサーモジュールの取り付けは終了です。

⑥最後に Vital 用 AC ケーブル※、ST-3000 用 AC ケーブル、PC 接続用 USB ケーブルを接続して本体の取り付けは終了です。

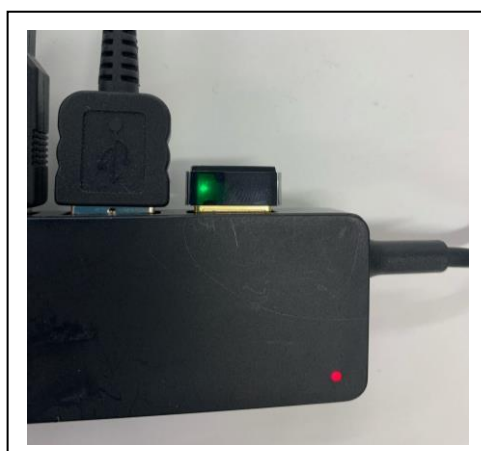
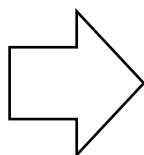
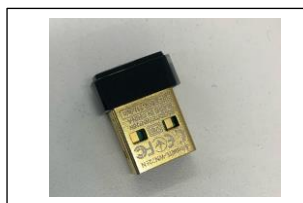


※ケーブル上下識別は、マークがついている方が上面となります。

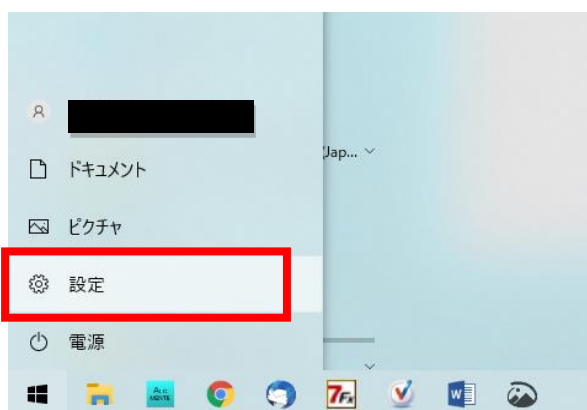
1-2. Wi-Fi 接続設定

①USB ポートに付属の外付け Wi-Fi 子機を接続します。

※Windows7PC の場合、Wi-Fi 子機ドライバインストールが必要です。付属ドライバインストールをしてください。



②デスクトップ左下のスタートボタンから設定をクリックします。



③ネットワークとインターネットをクリックします。



④Wi-Fi をクリックします。



⑤利用できるネットワークの表示をクリックします。

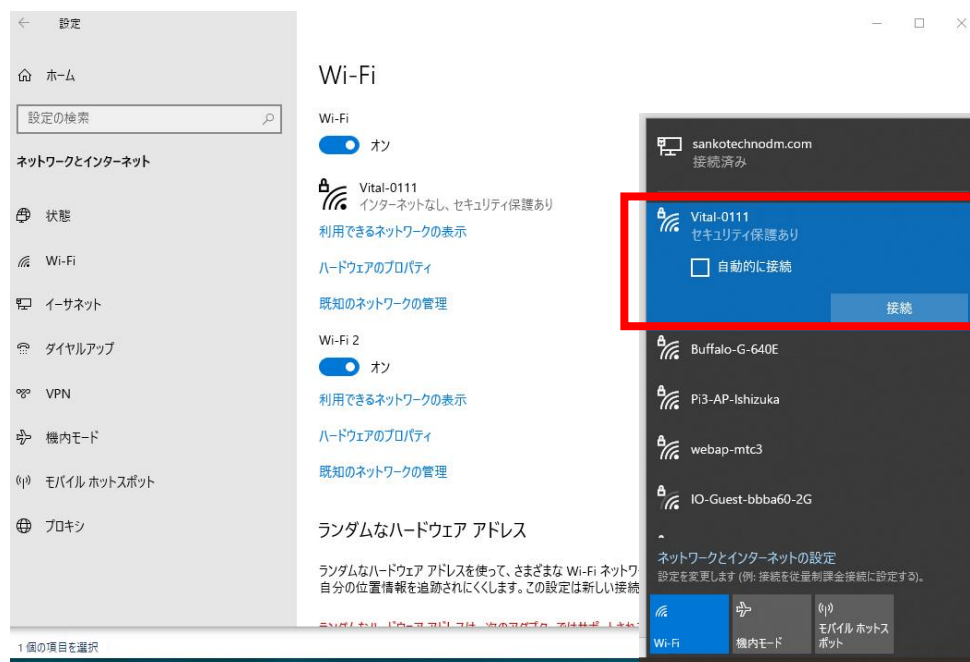


⑥Wi-Fi をすでにお使いの場合は、未使用の Wi-Fi 番号を選択します。

下記では、Wi-Fi 2 が未使用のためプルダウンから選択します。



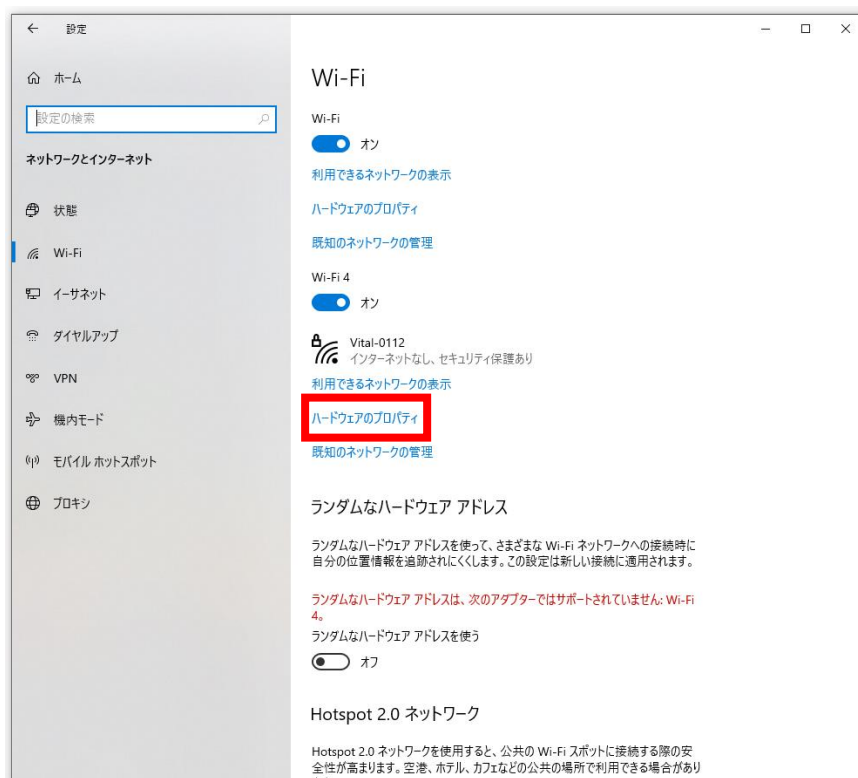
⑦『Vital-〇〇〇〇』を選択し、パスワード「vital123」を入力、自動的に接続に☑し接続完了です。



1-3. プロキシ設定

①プロキシサーバーを利用している場合、以下の設定をします。利用していない場合設定は不要です。

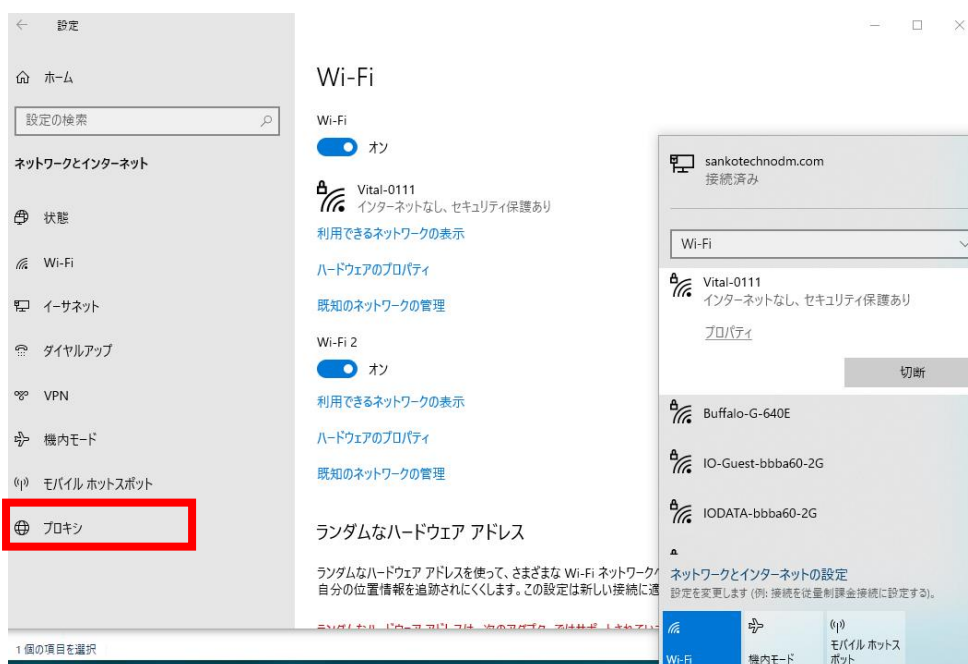
1-2. Wi-Fi 接続設定の②から⑤まで進み、⑦で接続した Wi-Fi のハードウェアプロパティを開きます。



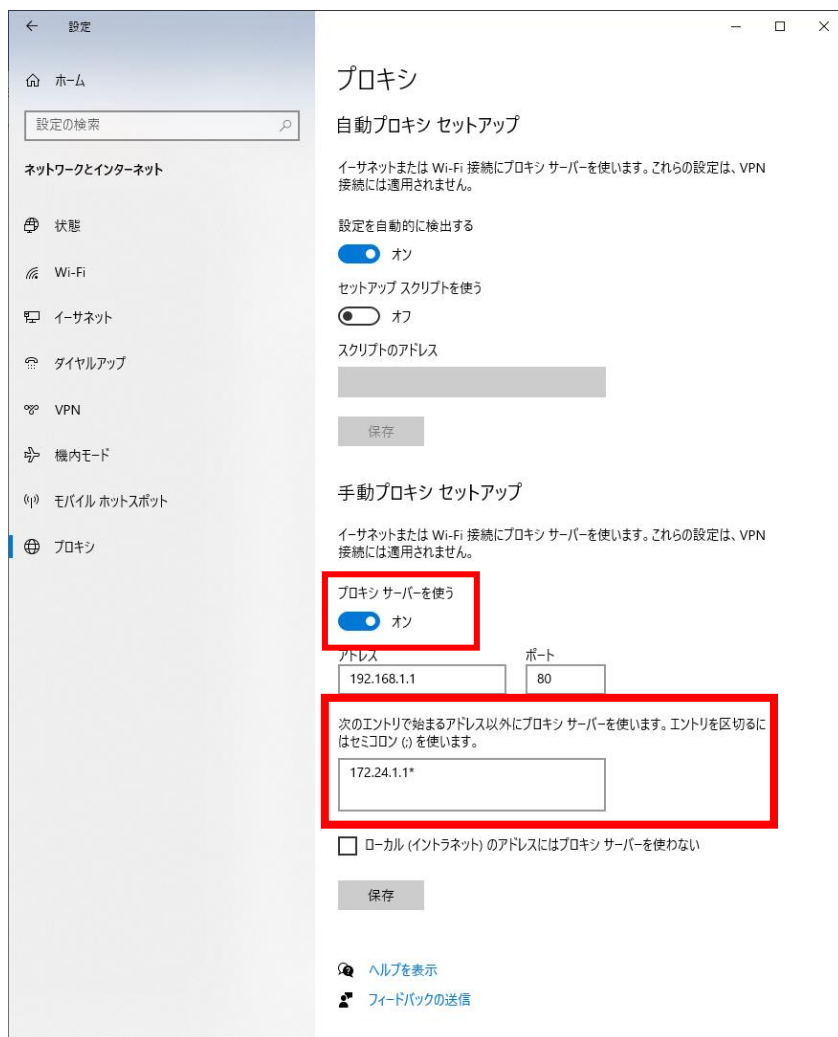
②IPv4 DNS サーバーの情報を控えます。



③プロキシを開きます。



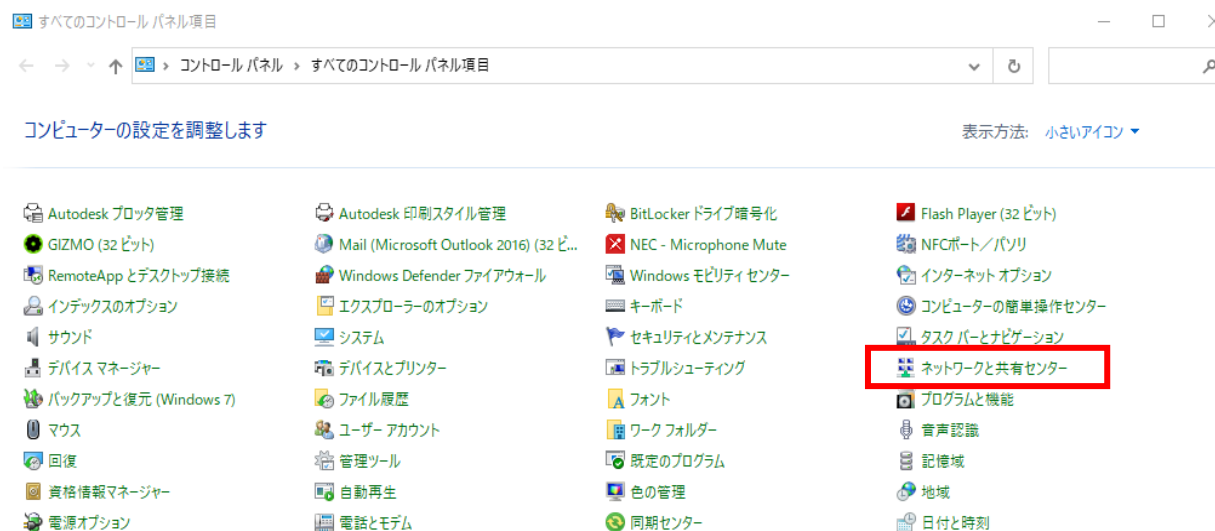
④プロキシ設定内の、赤囲い欄に、先ほど控えた情報を入力し、末尾に「*」を入力し保存ボタン押し完了です。



※プロキシサーバーを使用している場合、「プロキシサーバー使うがオン」になっています。

1-4 Wifi 固定 IP アドレス設定

①コントロールパネルから、『ネットワークと共有センター』をクリックします。



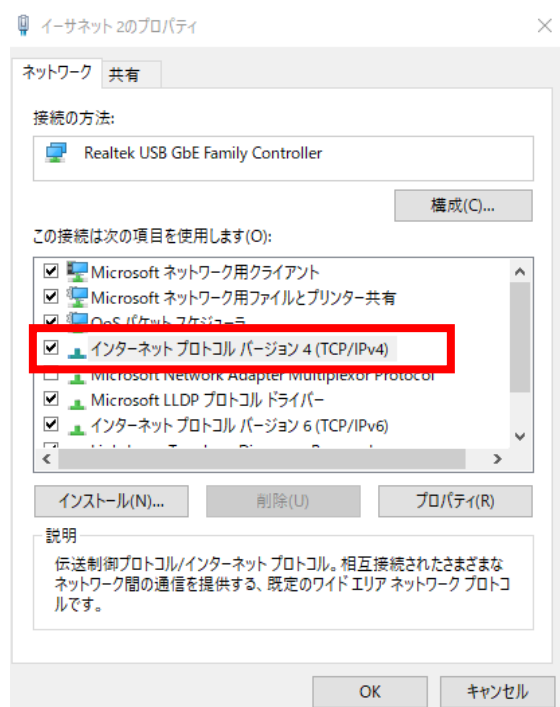
② 『接続：Wi-Fi (Vital - ○○○○)』 をクリックします。



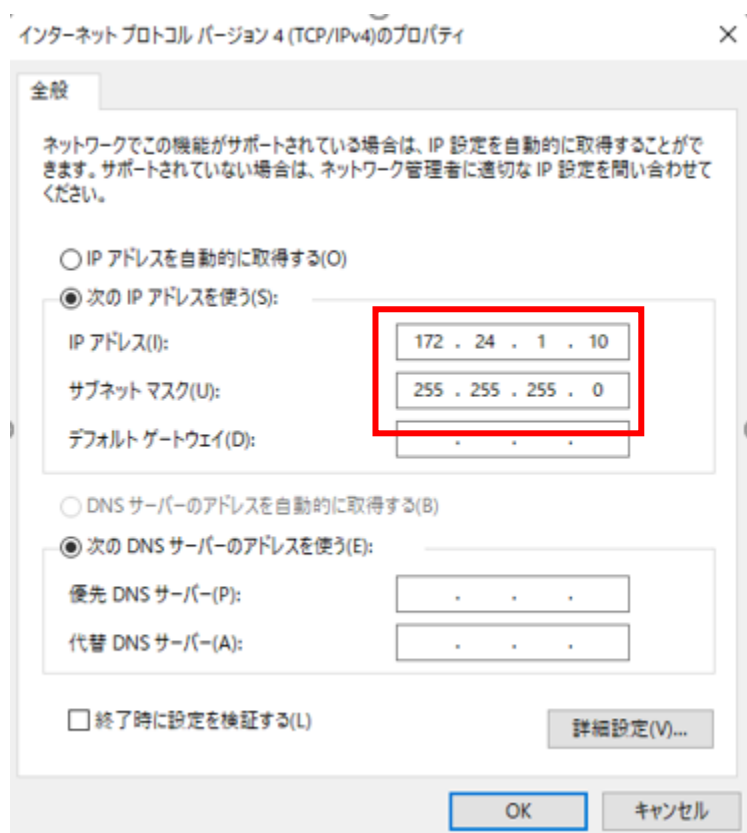
③ 左下のプロパティをクリックします。

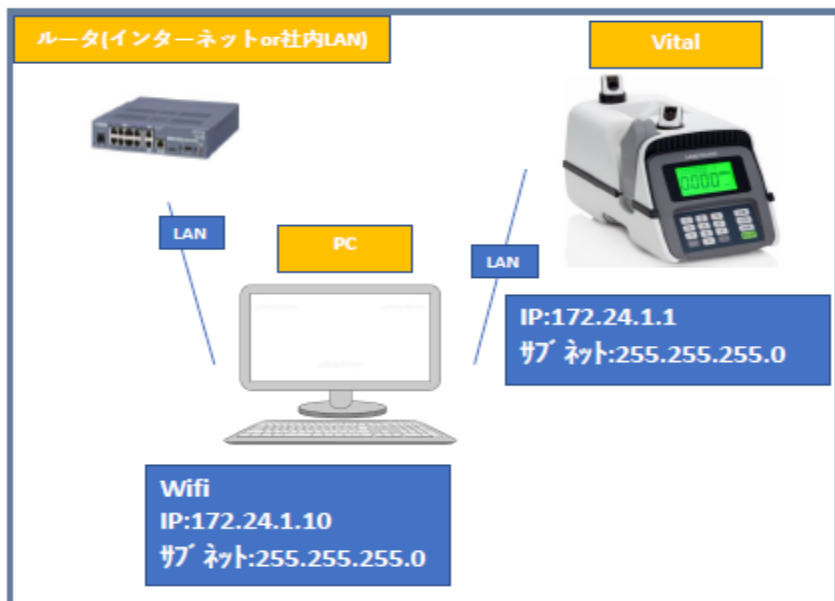


④ 『インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)』 をクリックします。



⑤ IP アドレスを下記の通り設定します。



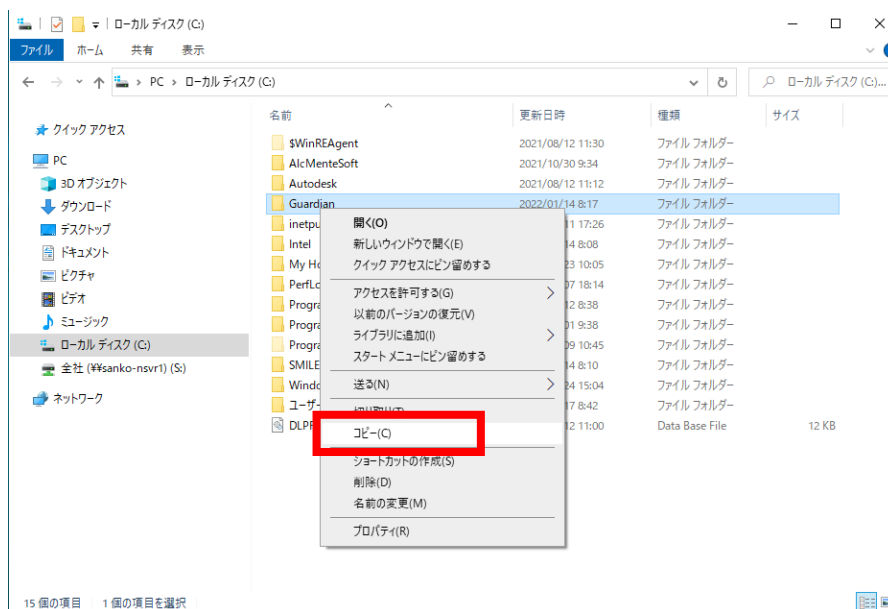


◇第2部 すでに「ALC Guardian」シリーズをお使いいただいているお客様

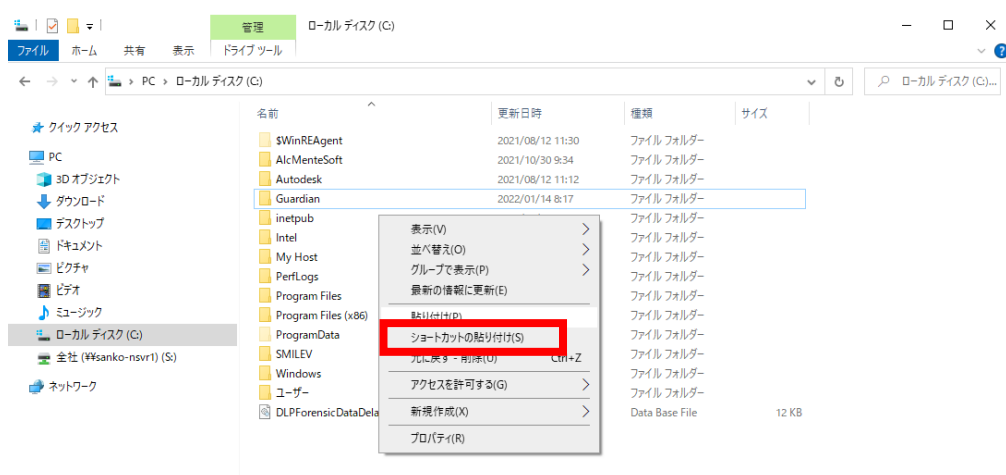
第1章 ソフト設定

1-1. Vital バージョンアップ設定

①バックアップを取るために、Cドライブ内の『Guardian』フォルダを右クリックしてコピーします。



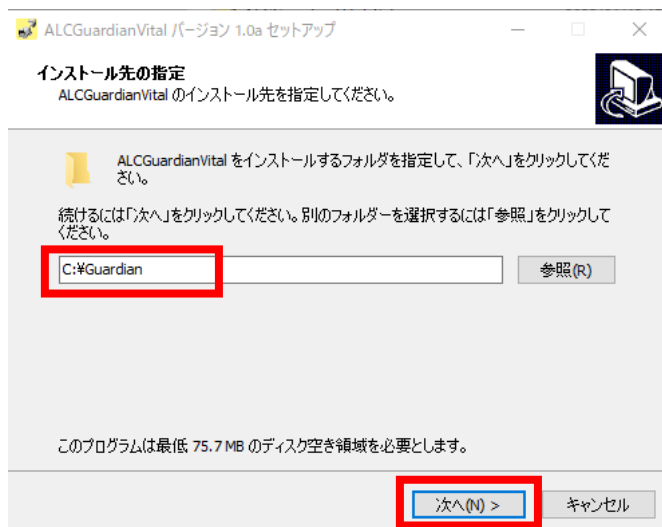
②コピーした『Guardian』フォルダを同じCドライブ直下に貼り付けます。



- ③・ALCGuardianNEXT（緑色）をお使いいただいていたお客様→『ALCGuardianVital_Version-up_Setup』
- ・ALCGuardian（青色）をお使いいただいていたお客様→『Vital_Old_VersionUp』

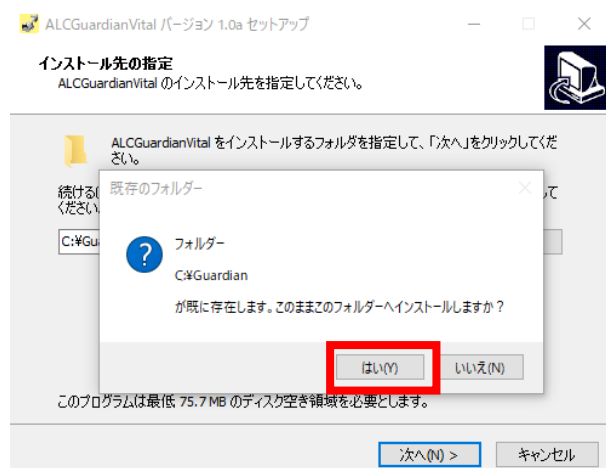
名前	更新日時	種類	サイズ
232Cドライブ	2022/01/20 14:10	ファイル フォルダー	
ALCGuardianVital_Version-up_Setup	2022/01/18 10:40	アプリケーション	17,448 KB
Vital_Old_VersionUp	2022/01/18 14:29	アプリケーション	16,173 KB

④インストール先が『C:¥Guardian』になっているのを確認したら、『次へ』をクリックします。

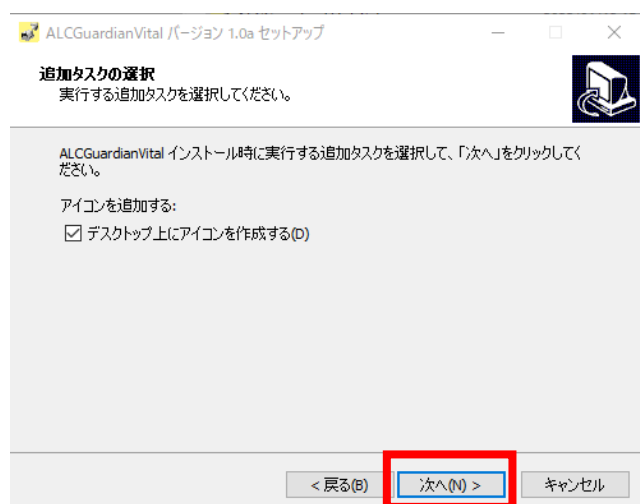


非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）

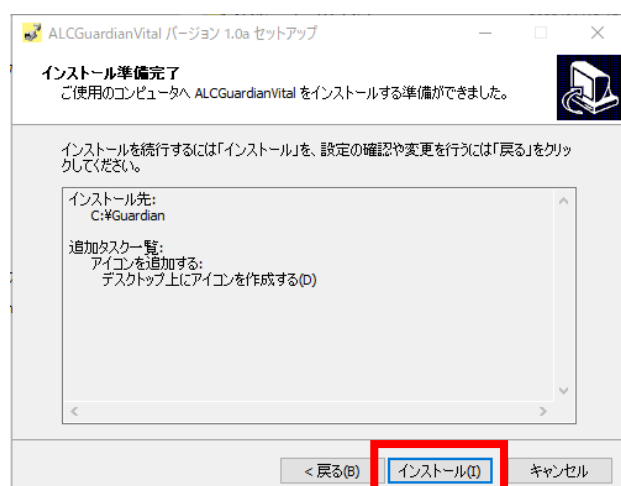
⑤『既存のフォルダー』の確認項目が表示されたのを確認してから『はい』をクリックします。



⑥デスクトップ上にアイコンを作成する場合はレ点を入れて『次へ』をクリックします。



⑦ここまでで設定したものを確認して、設定に間違いがなければ『インストール』をクリックします。



⑧『完了』をクリックしてインストール終了です。

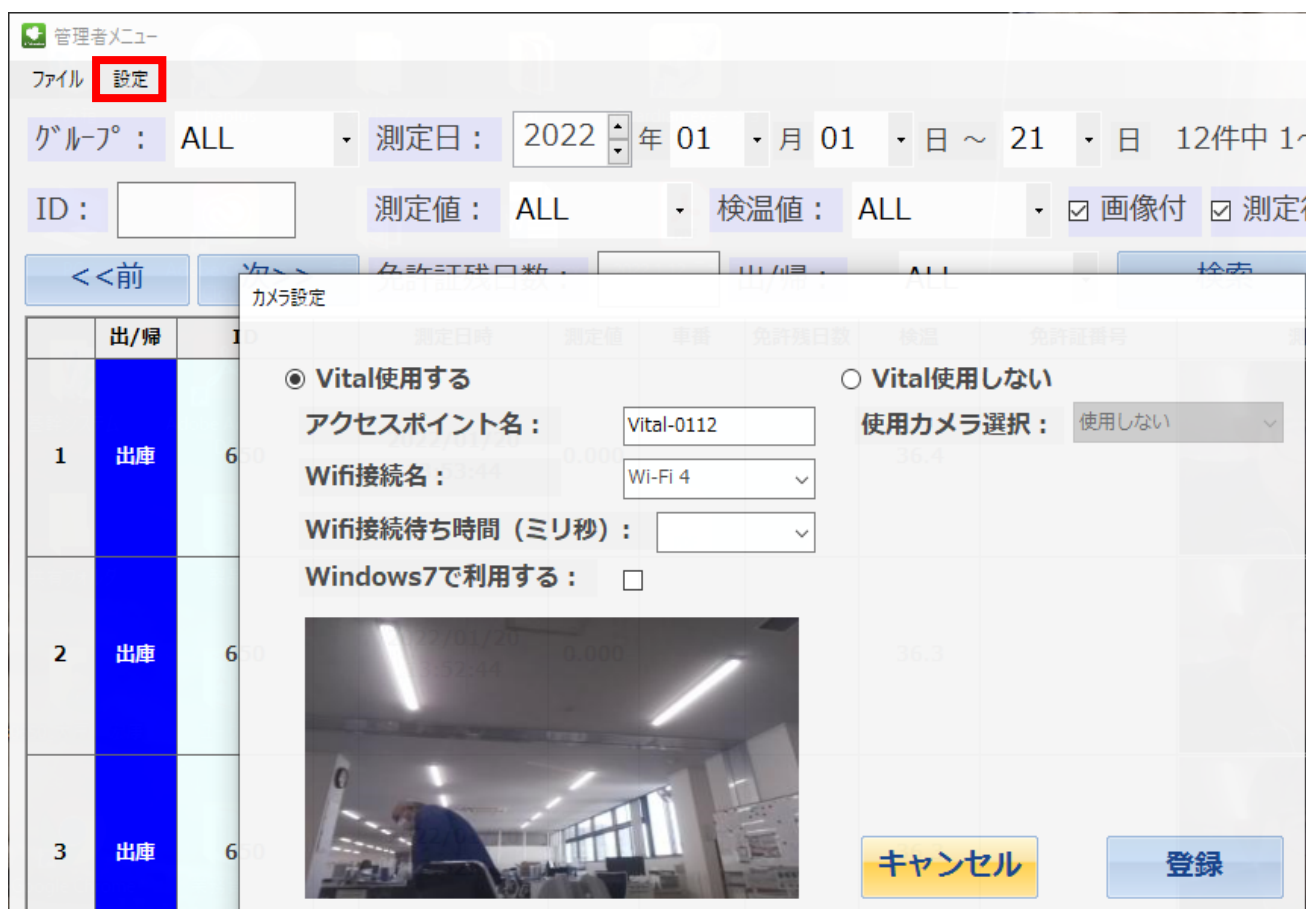


1-2. カメラ設定

①バイタルソフト左下の歯車マークをクリックします。



②設定からカメラ設定を選択



③アクセスポイント名に、1-2. ⑦で接続した名称が記入されていることを確認し、登録ボタンを押下します。アクセスポイント名に名称が記載されていない場合、Wi-Fi 接続を終えてから、再度設定画面を開いてください。

アクセスポイント名	Wi-Fi 子機の名称
Wi-Fi 接続名	Vital ソフトで接続させる Wi-Fi 番号
Wi-Fi 接続待ち時間 (ミリ秒)	Wi-Fi 子機を自動接続させるまでの秒数 (標準は空白)
Windows7 で利用する	Windows7 で利用する場合はチェックを入れる
Vital 使用しない	ALC Face Vital のカメラを使用しない場合にチェックを入れ、使用カメラを選択します。 ※この場合、検温はできません

1-3. 生年月日の入力（バイオリズムを表示したい場合）

① バイタルソフト左下の歯車マークをクリックします。



② 左上の設定からユーザー設定をクリックします。



③ 一番右にスクロールすると生年月日を入力する欄があるので8桁で入力します。



※バイオリズムについては、第3部第4章にて説明しています。

◇ 3部 新規でALC Face Vitalをお使いいただくお客様

1章 ドライバー・ソフトのインストール

1-1. インストール前のご確認


使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。（下記スペック表参照）

	ALCFaceVital
OS	Microsoft® Windows®7 Microsoft® Windows® 10 Microsoft® Windows® 11
CPU	Intel® Core™ i3 以上
メモリ	8GB 以上(推奨)
HDD(空き容量)	1GB 以上 (データ保存数に依存します)
外部ポート	USB2.0 ポート 4 口必要 (Wifi アダプタ、検知器、テンキー、IC 免許証リーダー使用の場合)
CD-ROMドライブ	必要
ディスプレイ	解像度 1600×900 以上
オーディオデバイス	必要(音声案内を使用する場合)
その他	NET Framework 4.7.2 以上必要 ※Microsoft® Windows®7 では Windows 7 Service Pack 1 が適用されていることが導入条件 ※WEB 記録簿利用時は NET Framework 3.5 が必要 Wifi アダプタ、Vital 間は 172.24.1 のセグメントを使用(Wifi アダプタには固定 IP の設定が必要)

- ①インストールの際は、[コンピューターの管理者] の権限（アカウント）でインストールしてください。
- ②実行中のアプリケーションをすべて終了してください。
- ③付属のセットアップ CD をパソコンの DVD ドライブに挿入してください。

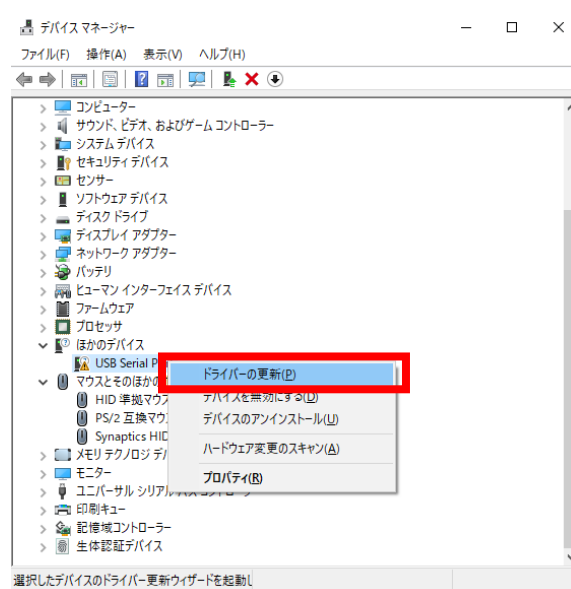
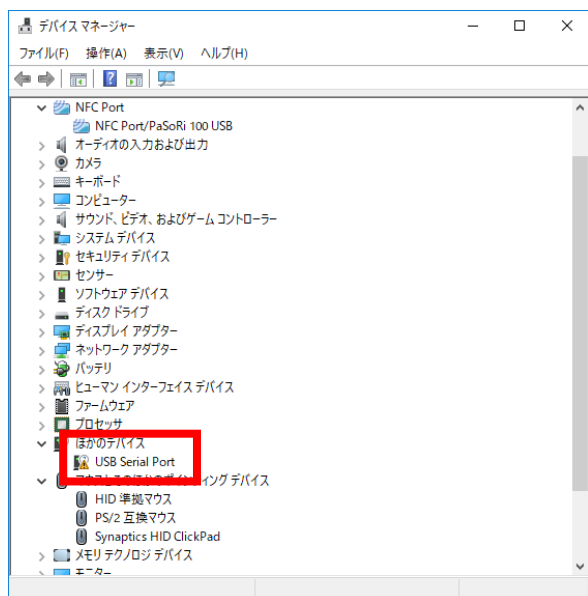
1-2. アルコール検知器 ST-3000 用ドライバーのインストール

呼気アルコール検知器 ST-3000 用ドライバーを下記の方法でインストールしてください。

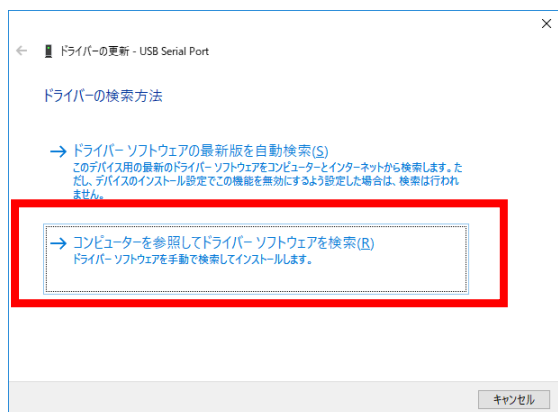
- ①呼気アルコール検知器 ST-3000 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続してください。
- ② [スタート] (画面左下  マーク) を右クリックし、[デバイスマネージャー] を選択してください。

※ご使用のパソコンが Microsoft® Windows®7 の場合は [スタート] をクリックし、[デバイスマネージャー] と検索して、[デバイスマネージャー] を起動してください。

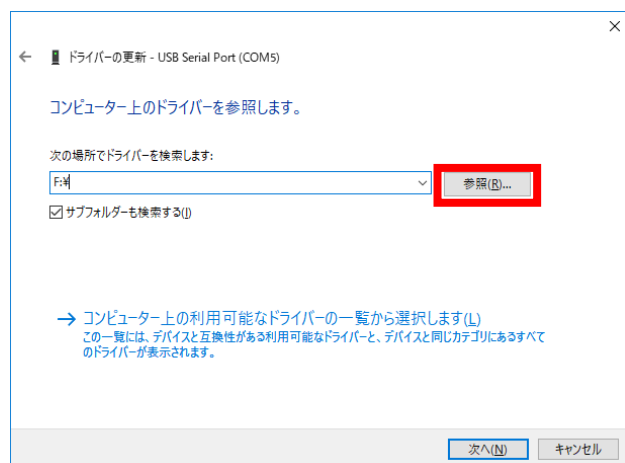
- ③ [ほかのデバイス] もしくは [ポート (COM と LPT)] に表示されている [USB Serial Port] を右クリックし、[ドライバーの更新] を選択します。



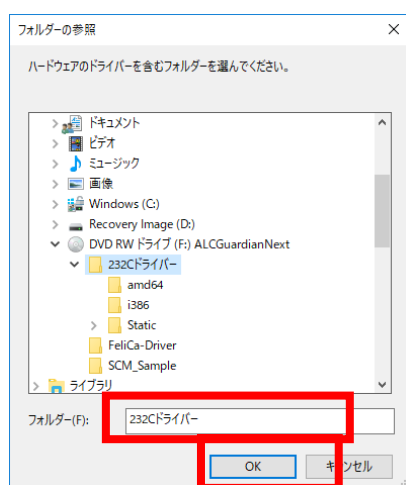
- ④ 【ドライバーの更新】 より、[コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索] を選択します。



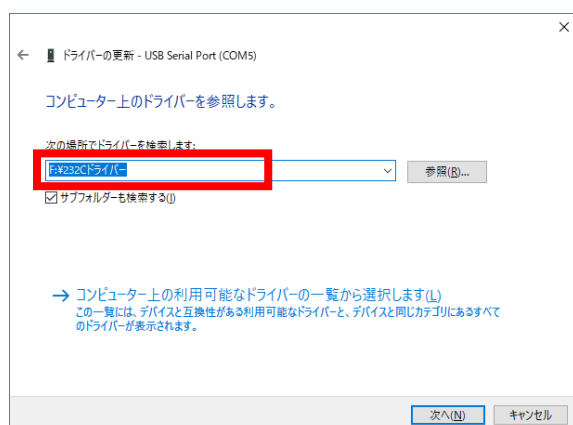
- ⑤ 【ドライバーの更新】より、[参照] をクリックし、セットアップ CD が挿入されている [ドライブ] を選択し、[次へ] を押します。



- ⑥ 【フォルダーの参照】より、セットアップ CD 内にある [232C ドライバー] フォルダーを選択し、[OK] を押します。

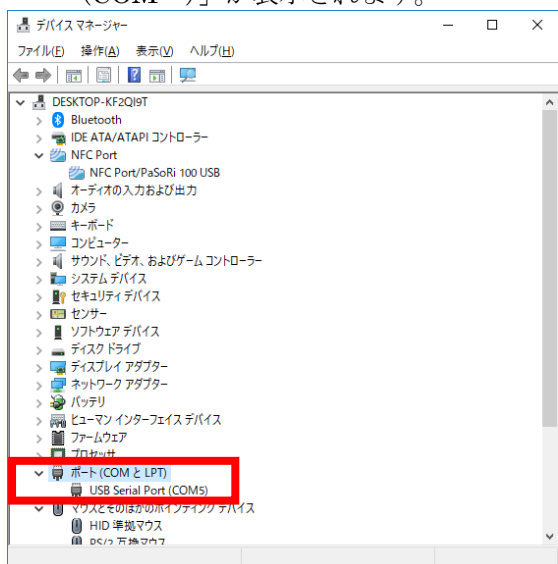


- ⑦ 【ドライバーの更新】より、[次の場所でドライバーを検索します] の表示欄に [232C ドライバー] の表示を確認後、[次へ] を押します。





- ⑧再度、【デバイスマネージャー】を起動し、ドライバーのインストールが正常に実行されたか確認します。
 ドライバーが正常にインストールされた場合は、[ポート (COM と LPT)] の中に [USB Serial Port (COM~)] が表示されます。



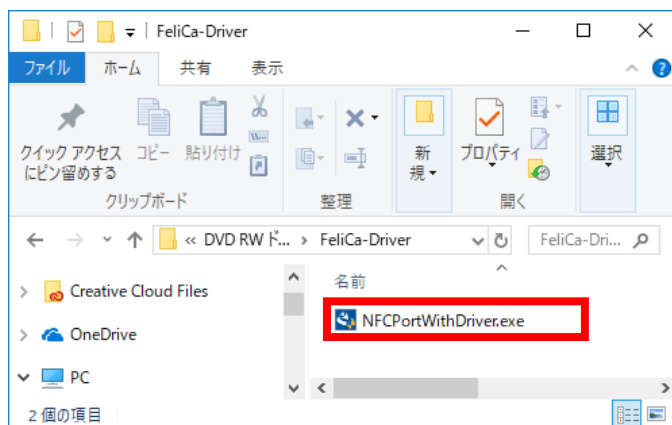
※ [ポート (COM と LPT)] の中に [USB Serial Port (COM~)] と表示されず、！マークが残ってしまう場合は、もう一度、手順③から行ってください。

1-3. IC 免許証リーダー用ドライバーのインストール

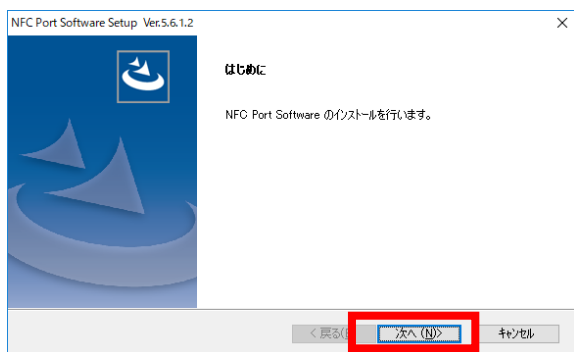
※オプション品の IC 免許証リーダーをご利用の場合に必要な作業です。

IC 免許証リーダーを使用し免許証の読み取りを行う場合、呼気アルコール検知システム ALCGuardianVital のインストールと同時に、IC 免許証リーダー用のドライバーをインストールする必要があります。

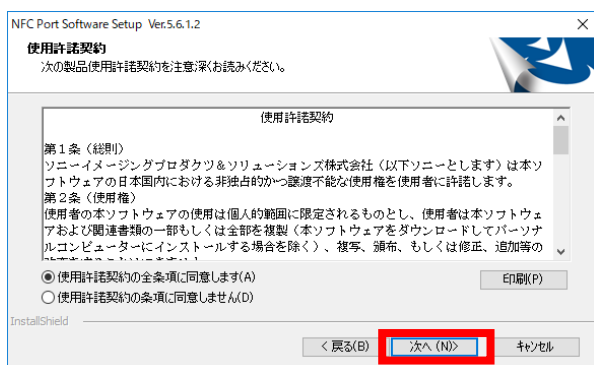
- ① 付属のセットアップ CD をパソコンの DVD ドライブに挿入します。
- ② セットアップ CD 内の [FeliCa-Driver] を開きます。
- ③ [NFCPortWithDriver.exe] を起動します。ユーザーアカウント制御が表示される場合は、[はい] を押してください。



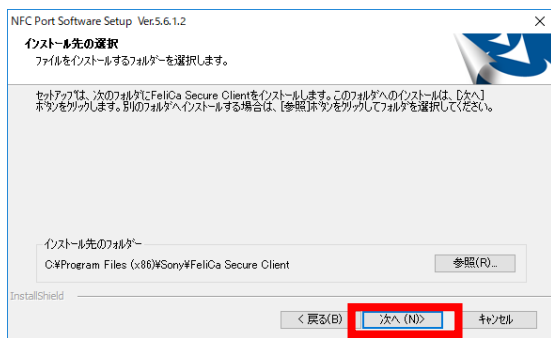
④ 【はじめに】画面表示後、[次へ] を押してください。



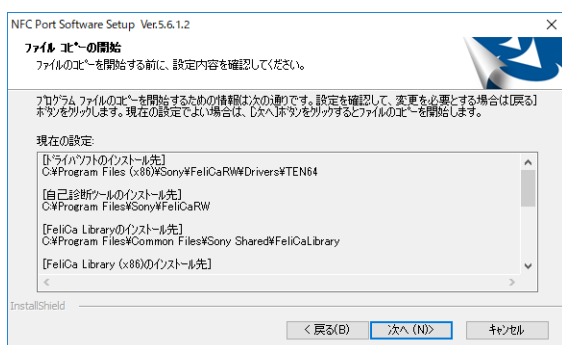
⑤ 使用許諾契約の内容を確認後、[使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックし、[次へ] を押します。



⑥ 【インストール先の選択】画面表示後、[次へ] を押します。

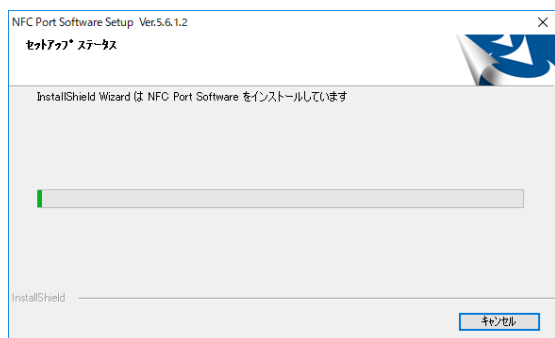


⑦ 【ファイルコピーの開始】画面表示後、[次へ] を押します。



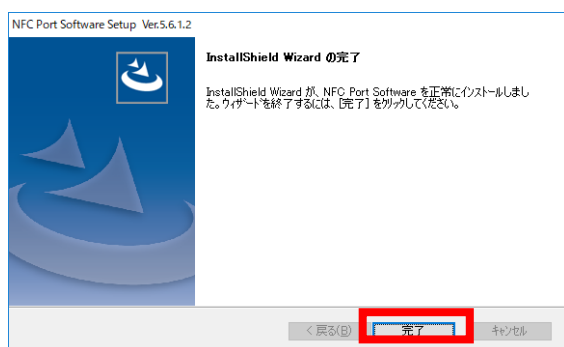


⑧インストールが開始されますので、しばらく待ちます。



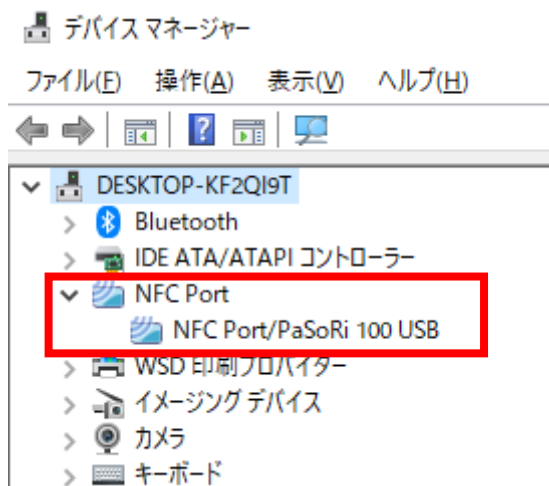
⑨【InstallShield Wizard の完了】画面表示後、[完了] を押して終了です。

※再起動を求められた場合は、[再起動] を選択してください。



⑩ [NFCPortWithDriver.exe] インストール完了後、IC 免許証リーダーを接続してください。ドライバーが正常にインストールされた場合は、[デバイスマネージャー] に [NFC Port] のアイコンが表示されます。

※ドライバーのインストール完了後も [NFC Port] が表示されない場合は、IC 免許証リーダーの USB ケーブルを抜き差し、もしくは USB ポートを変えて接続し、再度確認してください。



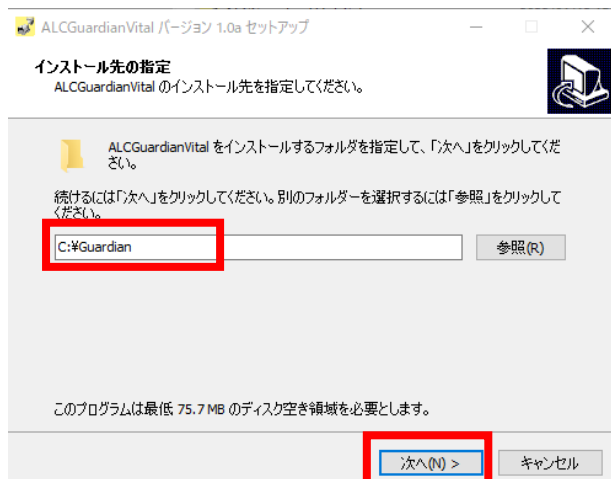
1-4. Vital インストール方法

①セットアップ CD 内にある『ALCGuardianVital_Setup』アプリを起動します。

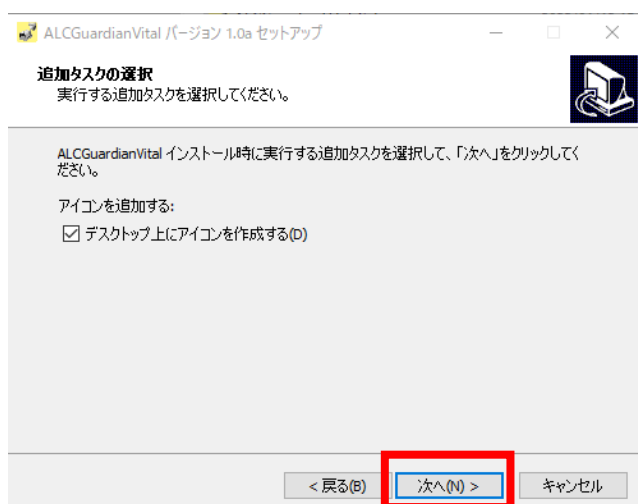
※IC リーダーを使用する場合は『ALCGuardianVital_IC_Setup』アプリを起動します。



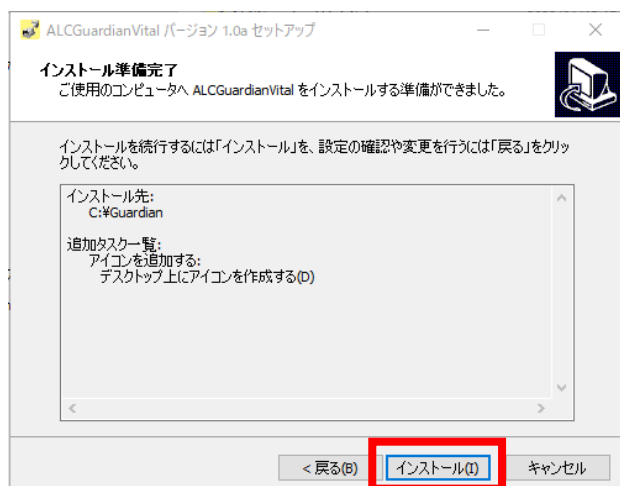
②インストール先が『C:\Guardian』になっているのを確認したら、『次へ』をクリックします。



③デスクトップ上にアイコンを作成する場合はレ点を入れて『次へ』をクリックします。



④ここまでで設定したものを確認して、設定に間違いがなければ『インストール』をクリックします。



⑤『完了』をクリックしてインストール終了です。



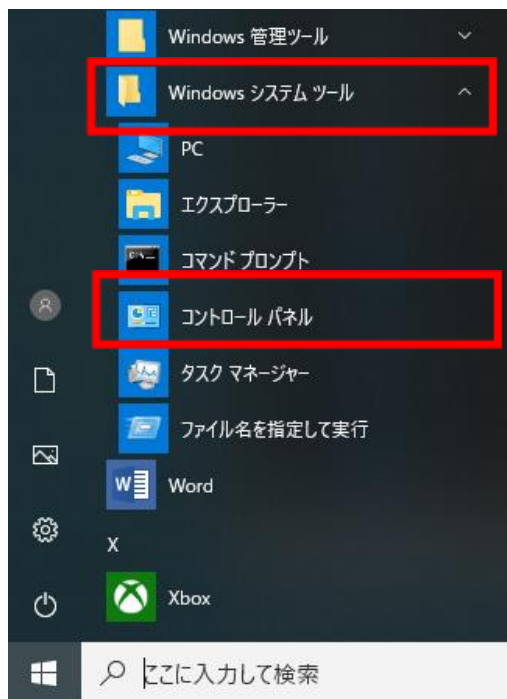
第2章 電源オプションの設定確認と変更

2-1. 電源オプションの設定

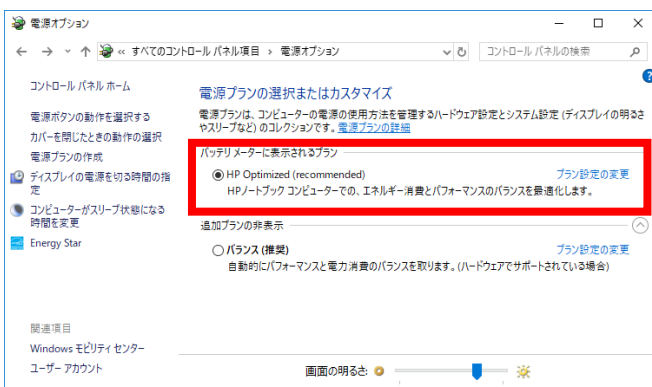
①Windows のスタートボタンを左クリックします。



② [Windows システムツール] を選択し、[コントロールパネル] を左クリックします。



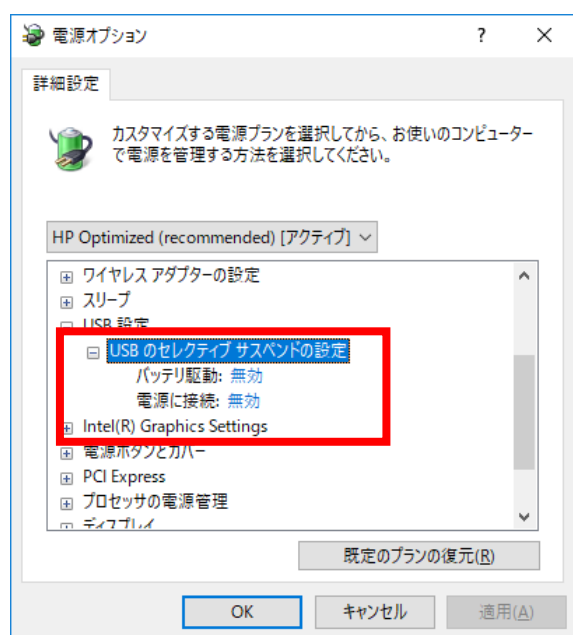
③ 【電源プランの選択またはカスタマイズ】より、選択されているプランの [プラン設定の変更] を押します。



- ④【プラン設定の編集】より、[ディスプレイの電源を切る]と[コンピューターをスリープ状態にする]の項目をすべて [適用しない] に設定し、[詳細な電源設定の変更] を押します。

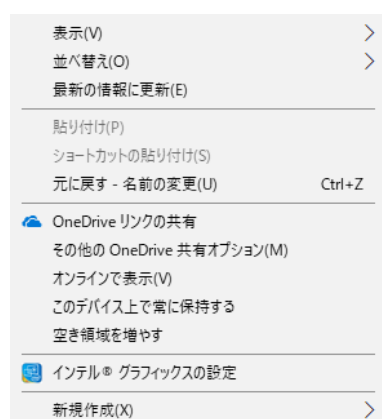


- ⑤【詳細設定】より、[USB 設定] から [USB セレクティブサスペンドの設定] を開き、[バッテリー駆動]と[電源に接続] をどちらも [無効] にして [適用] を押し、最後に「OK」を押します。

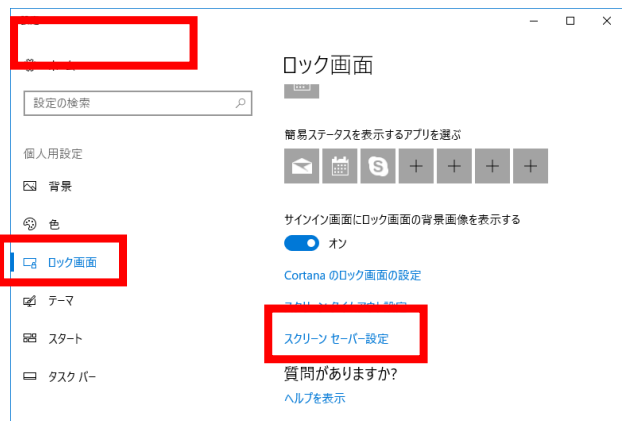


2-2. スクリーンセーバーの設定

- ①デスクトップ上の何も無いところで右クリックし、[個人用設定] を選択します。



②左メニューから [ロック画面] を選択し、[スクリーンセーバー設定] を選択します。



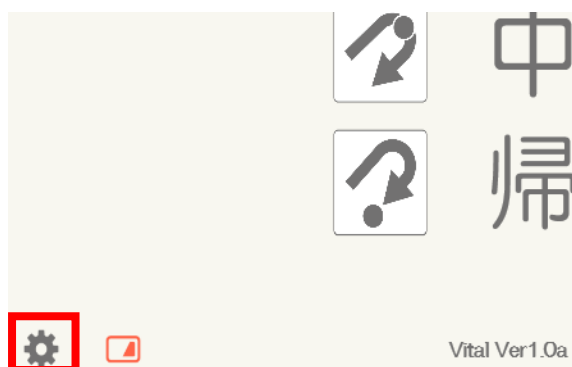
③【スクリーンセーバーの設定】より、スクリーンセーバーのドロップダウンメニューから [なし] を選択後に [適用] を押し、最後に [OK] を押します。



第3章 画面構成

3-1. 環境設定

①Vital 起動時画面左下の歯車マークをクリックします。



②画面左上の設定をクリックすると各種設定項目が出てきます。



環境設定

基本設定		免許証設定	
会社名:	<input type="text"/>	IC免許証リーダー使用:	使用する
営業所名:	<input type="text"/>	免許証 PIN 1 チェック:	PIN使用しない
テロップ:	今日も安全運転をお願いします。	免許証番号必須チェック:	チェックしない
使用測定器:	ST-3000	置き忘れ警告表示:	表示する
検知器COM番号:	COM5 <input type="button" value="デバイスマネージャー"/>	免許証不使用測定可否:	可
		有効期限切れ測定可否:	可
ALCGuardianSV設定		その他設定	
送信:	しない	ALC警報バトライトCOM番号:	使用しない
送信先フォルダー:	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>	ALC検知確認:	する
IT点呼設定		出庫/中間/帰庫チェック:	する
IT点呼:	しない	音声案内:	しない
IT点呼時間:	00 : 00 ~ 00 : 00	中間点呼:	する
CSV出力設定 (デジタコ連携)		測定結果表示秒数:	20
設定1	設定2	設定3	最前面設定:
CSV出力:	しない	CSV出カタイプ:	0
CSVフォルダー:	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>		
CSVファイル名:	<input type="text"/>		
		検温設定	
		検温値警告温度	
		黄色:	36.5
		赤色:	37.9
		<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="登録"/>	

基本設定	
名称	機能
会社名	会社名を登録します。
営業所名	営業所名を登録します。
テロップ	オープン画面のテロップに表示するコメントを登録します。
検知器 COM 番号	呼気アルコール検知器 ST-3000 の接続ポート番号を登録します。 ※右側の [デバイスマネージャー] を押し、[デバイスマネージャー] に表示されている COM 番号を確認してください。

ALCGuardianSV 設定	
名称	機能
送信	ALCGuardianSV を利用する場合は、[する] を選択してください。
送信先フォルダー	ALCGuardianSV で設定した送信先フォルダーを登録します。

※一元管理ソフト ALCGuardianSV をご利用の場合に必要な設定です。

IT 点呼設定	
名称	機能
IT 点呼	IT 点呼を利用する場合は、[する] を選択してください。
IT 点呼時間	時間設定された時間内は、自動的に IT 点呼に接続されます。

※IT 点呼ソフト ALCGuardianNetSV/Net をご利用の場合に必要な設定です。

CSV 出力設定(デジタコ連携)	
名称	機能
設定 1～3	設定 1～3 それぞれに CSV 出力タイプを設定します。
CSV 出力	CSV 出力が必要な場合は、[する] を選択してください。
CSV 出力タイプ	適切な CSV 出力タイプを選択してください。
CSV フォルダ	CSV ファイルを出力するフォルダを指定します。
CSV ファイル名	[sokutei.csv] と [alc.csv] どちらかのファイル名を選択、または任意のファイル名を入力します。

※測定結果を CSV 出力する場合に必要な設定です。

免許証設定	
名称	機能
IC 免許証リーダー使用	IC 免許証リーダーをご利用の場合は、[使用する] を選択してください。
免許証 PIN1 チェック	[ユーザー登録] 画面に [PIN1 チェック] のボタンが表示され、IC 免許証リーダーに免許証をかざすことで免許証に設定されている PIN1 の照合ができます。 (照合時、連続して 3 回失敗すると、IC チップにロックがかかります)
免許証番号必須チェック	[チェックする] … [ユーザー登録] の際に免許証番号の入力が必須になります。
置き忘れ警告表示	[チェックする] …IC 免許証リーダーによる認証確認後、免許証の置き忘れがないか、チェックを行います。
免許証不使用測定可否	[可] …IC 免許証リーダーを使用しない場合の測定ができるようになります。 [否] …IC 免許証リーダーを使用しない場合の測定ができなくなります。
有効期限切れ測定可否	[可] …IC 免許証リーダーにかざした免許証の有効期限が切れている場合にも測定ができます。 [否] …免許証の有効期限が切れている場合には測定できません。

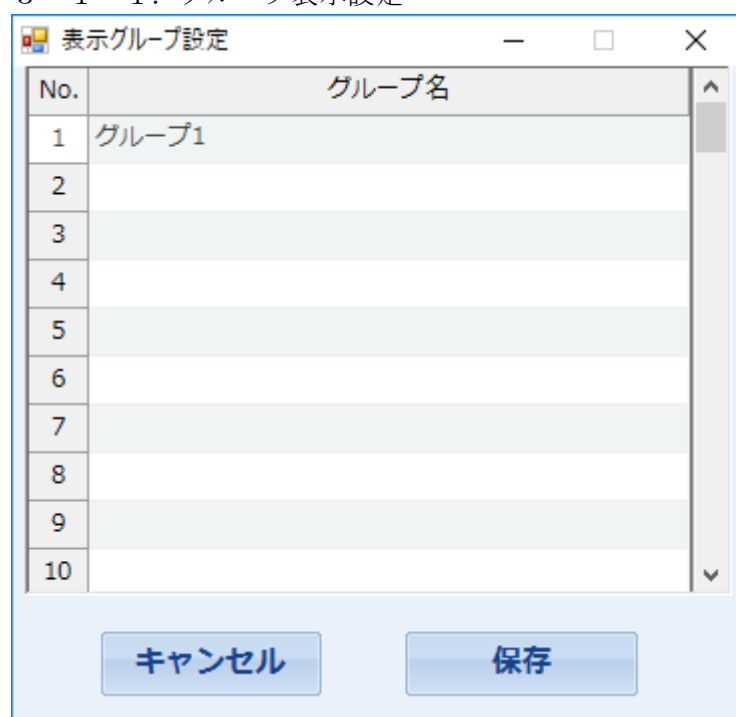
※IC 免許証リーダーをご利用の場合に必要な設定です。

その他設定	
名称	機能
ALC 警報パトライト COM 番号	ALC 警報パトライトの接続ポート番号を登録します。 ※オプション品の「ALC 警報パトライト」をご利用の場合に必要な設定です。
ALC 検知確認	[する] …アルコール反応が出た場合、運行管理者の確認が入るまで測定結果画面のまま止まります。 [しない] …アルコール反応が出ても、いつも通りオープン画面に戻ります。
出庫/中間/帰庫チェック	[する] …オープン画面メッセージ欄に『テンキーの【出】(【中】)【帰】を選択してください』という表示がされます。 ※ [中間点呼] を [する] にした場合は [中間] が表示されます。
音声案内	[する] …PC 音源からの音声案内を有効にします。

中間点呼	[する] … [出庫] [帰庫] に加え、[中間] も選択できるようになります。 [しない] … [中間] は表示されず、[出庫]「帰庫」のみの選択になります。
測定結果表示秒数	最後の測定結果画面を表示する秒数を選択します。
最前面設定	[する] …一定時間経過後に Vital のオープン画面を最前面に表示させます。

検温設定	
名称	機能
警告温度黄色	黄色で警告する温度を設定します
警告温度赤色	赤色で警告する温度を設定します

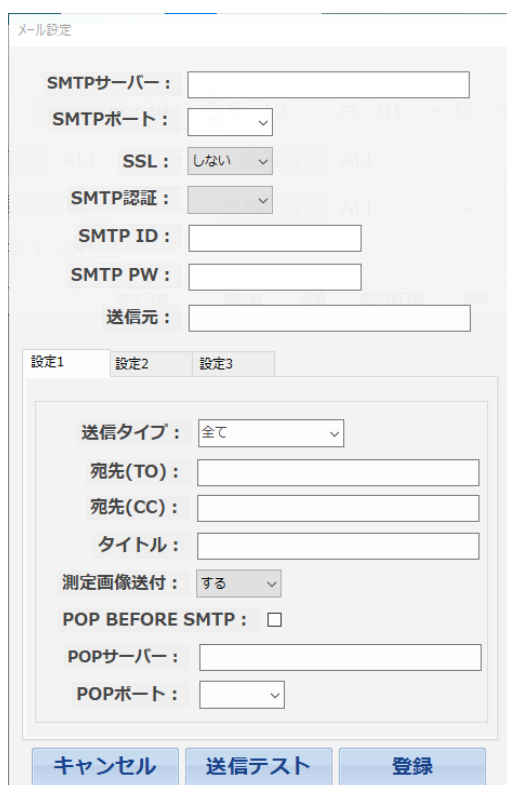
3-1-1. グループ表示設定



表示グループ設定		
番号	名称	機能
1	No	No を表示します。
2	グループ名	グループ名を登録します。 ※設定時は、空白を作らずに上詰めで入力してください。
3	キャンセル	設定内容を保存せず、画面を閉じます。
4	保存	設定内容を保存します。

20	生年月日	<p>生年月日を8桁の半角数字で入力します。 (バイオリズムを表示したい場合) ※バイオリズムについては、第3部第4章にて説明しています。</p>
----	------	---

3-1-3. メール設定



メール設定	
名称	機能
SMTP サーバー	SMTP サーバー名を設定します。
SMTP ポート	ポート番号を選択してください。
SSL	SSL を使用する場合は、[する] を選択してください。
SMTP 認証	SMTP 認証が必要な場合は、[する] を選択してください。

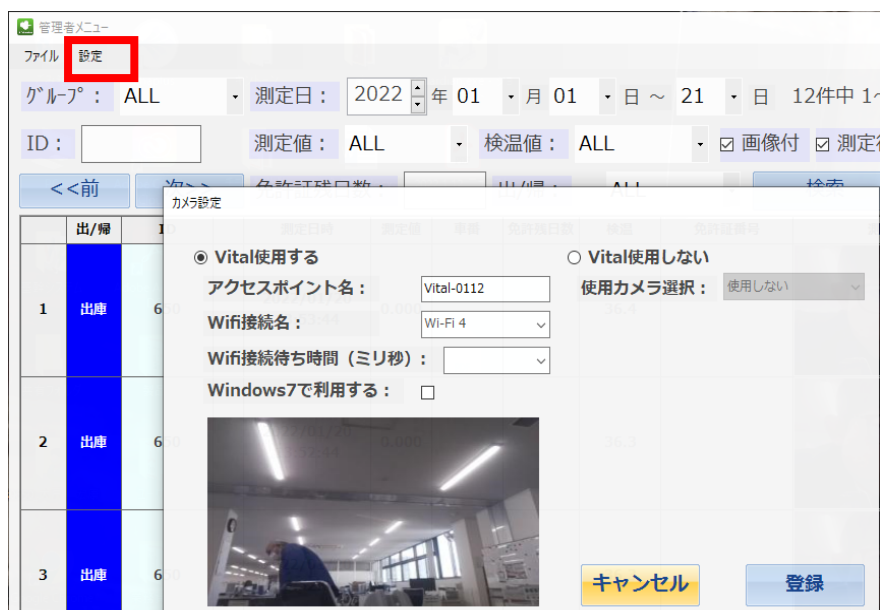
SMTP ID	SMTP ID を設定します。
SMTP PW	SMTP パスワードを設定します。
送信元	メール送信元のメールアドレスを登録します。
設定1、設定2、設定3	メール送信先のメールアドレスを登録します。
送信タイプ（全て）	アルコール反応時、検温警告いずれかで検知した場合メール送信します。
送信タイプ（ALC 反応あり）	アルコール反応時のみメール送信します。
送信タイプ（検温警告あり）	検温検知した場合のみメール送信します。
送信タイプ（送信しない）	一時的にメール送信したくない場合宛先登録していても送信されません。
宛先	メール送信先のメールアドレスを登録します。
タイトル	メールの件名を登録します。
測定画像送付	[する] …測定画像を添付します。 [しない] … [カメラ設定] を [使用しない] に設定した場合は、こちらを選択してください。
POP BEFORE SMTP	SMTP に利用者認証を付加します。
POP サーバー	POP サーバー名を設定します。
POP ポート	POP ポートを設定します。
キャンセル	設定内容を保存せず、メール設定を閉じます。
送信テスト	メールの送信テストを行います。
登録	入力した情報を登録します。

3-1-4. カメラ設定

①バイタルソフト左下の歯車マークをクリックします。



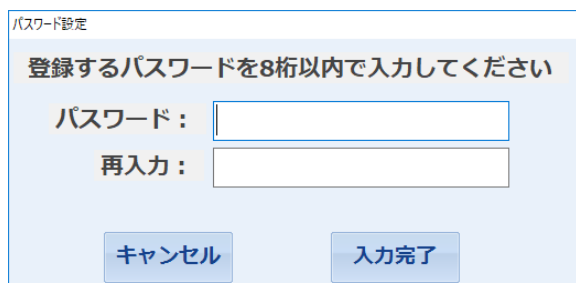
②設定からカメラ設定を選択



③アクセスポイント名に、1-2. ⑦で接続した名称が記入されていることを確認し、登録ボタンを押下します。アクセスポイント名に名称が記載されていない場合、Wi-Fi 接続を終えてから、再度設定画面を開いてください。

アクセスポイント名	Wi-Fi 子機の名称
Wi-Fi 接続名	Vital ソフトで接続させる Wi-Fi 番号
Wi-Fi 接続待ち時間 (ミリ秒)	Wi-Fi 子機を自動接続させるまでの秒数 (標準は空白)
Windows7 で利用する	Windows7 で利用する場合はチェックを入れる
Vital 使用しない	ALC Face Vital のカメラを使用しない場合にチェックを入れ、使用カメラを選択します。 ※この場合、検温はできません

3-1-5. パスワード設定 (任意)



パスワード設定	
名称	機能
パスワード	登録するパスワードを8桁以内で入力してください。

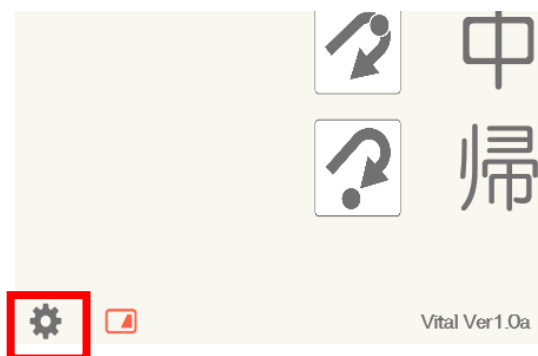
再入力	確認のため、再度パスワードを入力してください。
キャンセル	設定内容を保存せず、パスワード設定を閉じます。
入力完了	パスワードを登録します。

※パスワード設定を行うと、[環境設定] [ユーザー設定] [メール設定] [カメラ設定] [測定結果] すべての設定変更時にパスワード入力が必要になります。

第4章 初期設定

4-1. 環境設定

オープン画面左下の歯車マークより、「設定」を選択し、「環境設定」を押します。



非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）



環境設定

基本設定

会社名:

営業所名:

テロップ:

使用測定器:

検知器COM番号:

ALCGuardianSV設定

送信:

送信先フォルダー:

IT点呼設定

IT点呼:

IT点呼時間: : ~ :

CSV出力設定 (デジタコ連携)

設定1 設定2 設定3

CSV出力: CSV出力タイプ:

CSVフォルダー:

CSVファイル名:

免許証設定

IC免許証リーダー使用:

免許証 PIN 1 チェック:

免許証番号必須チェック:

置き忘れ警告表示:

免許証不使用測定可否:

有効期限切れ測定可否:

その他設定

ALC警報バトライトCOM番号:

ALC検知確認:

出庫/中間/帰庫チェック:

音声案内:

中間点呼:

測定結果表示秒数:

最前面設定:

検温設定

検温値警告温度

黄色: 赤色:

4-1-1. 基本設定

基本設定

会社名:

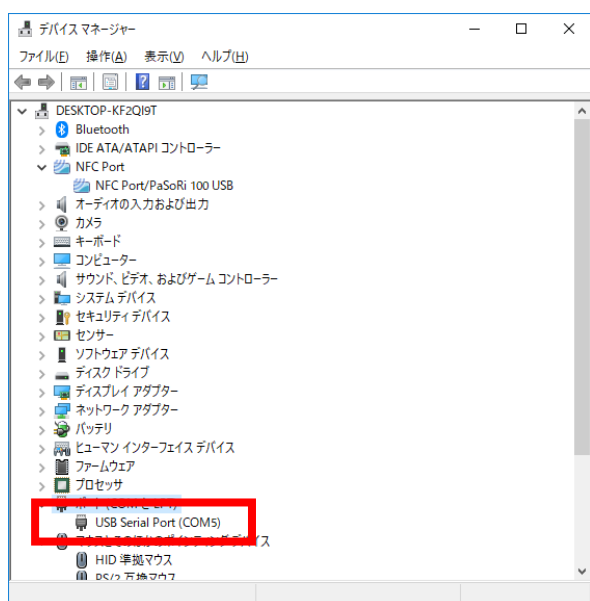
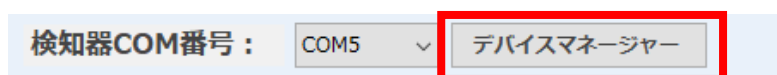
営業所名:

テロップ:

検知器COM番号:

基本設定	
名称	機能
会社名	会社名を登録します。
営業所名	営業所名を登録します。
テロップ	オープン画面のテロップに表示するコメントを登録します。
検知器 COM 番号	呼気アルコール検知器 ST-3000 の接続ポート番号を登録します。

	<p>右側の [デバイスマネージャー] を押し、[デバイスマネージャー] に表示されている COM 番号を確認してください。下図の場合、COM 番号は 5 番となります。</p>
--	---



4-1-2. ALCGuardianSV 設定（一元管理ソフト ALCGuardianSV をご利用の場合）

ALCGuardianSV設定

送信： する ▼

送信先フォルダー： 選択

名称	機能
----	----

送信	ALCGuardianSV を利用する場合は、[する] を選択してください。
送信先フォルダー	ALCGuardianSV で設定したフォルダーを選択してください。

4-1-3. IT 点呼設定（IT 点呼 ALCGuardianNet）をご利用の場合

IT点呼設定

IT点呼：

IT点呼時間： : ~ :

IT 点呼設定	
名称	機能
IT 点呼	IT 点呼を利用する場合は、「する」を選択してください。
IT 点呼時間	設定された時間内は、自動的に IT 点呼に接続されます。

4-1-4. CSV 出力設定（デジタコ連携）

CSV出力設定（デジタコ連携）

設定1 設定2 設定3

CSV出力： CSV出力タイプ：

CSVフォルダー：

CSVファイル名：

名称	機能
設定1～3	設定1～3 それぞれに CSV 出力タイプを設定します。
CSV 出力	[する] …CSV 出力が必要な場合に設定します。
CSV 出力タイプ	適切な CSV 出力タイプを選択してください。（メーカーによって、ファイル形式が異なりますので、CSV 出力タイプを参照して、適切な形式を設定してください）
CSV フォルダー	CSV ファイルを出力するフォルダーを指定します。
CSV ファイル名	CSV ファイル名を設定します。

例1：CSV 出力タイプ「1」に設定した場合

CSV出力設定（デジタコ連携）

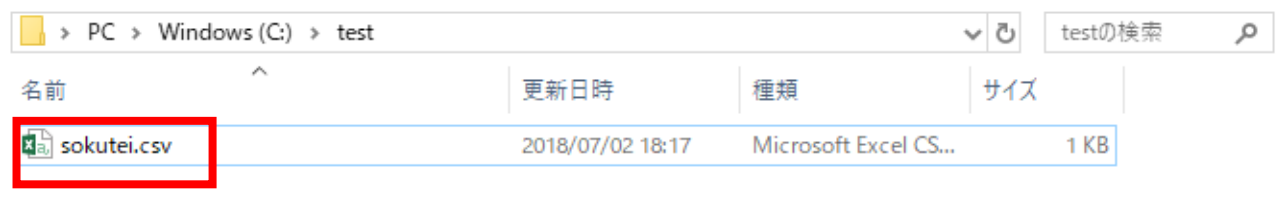
設定1 設定2 設定3

CSV出力： CSV出力タイプ：

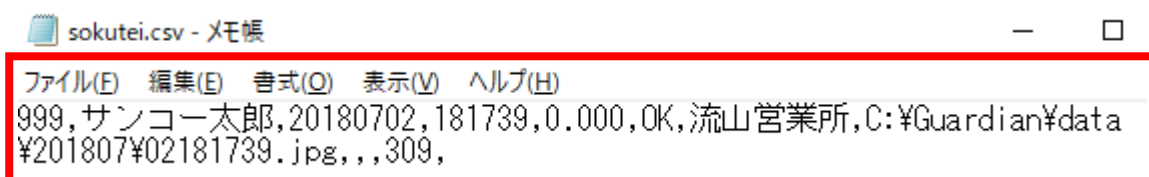
CSVフォルダー：

CSVファイル名：

測定後、入力した [CSV ファイル名] で CSV ファイルが自動的に出力されます。

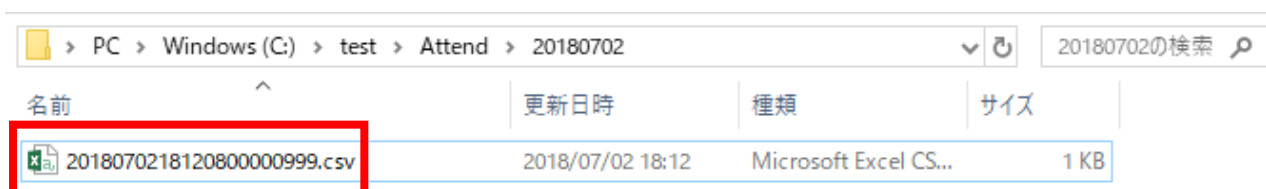
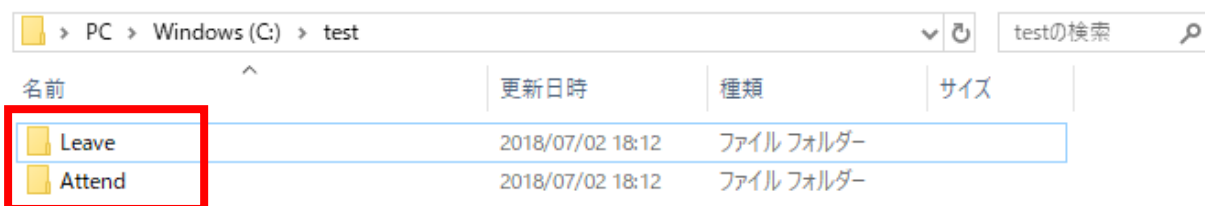


出力タイプ「1」の CSV フォーマットでファイルが出力されました。

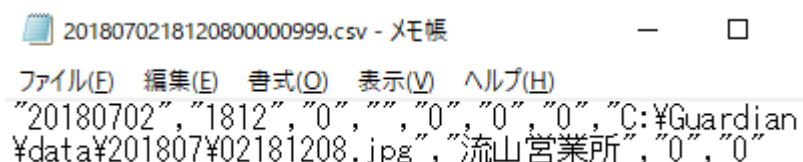


※ [CSV ファイル名] は入力せずに登録してください。

[Attend (出庫)] [Leave (帰庫)] フォルダが自動的に作成されます。



出力タイプ「5」の CSV フォーマットファイルが出力されました。





4-1-5. 免許証設定（オプション品の IC リーダーをご利用の場合）

免許証設定

IC免許証リーダー使用： 使用する ▼

免許証 PIN1 チェック： PIN使用しない ▼

免許証番号必須チェック： チェックしない ▼

置き忘れ警告表示： 表示する ▼

免許証不使用測定可否： 可 ▼

有効期限切れ測定可否： 可 ▼

名称	機能
IC 免許証リーダー使用	IC 免許証リーダーを使用する場合は、[使用する] を選択してください。
免許証 PIN1 チェック [PIN1 使用する]	[ユーザー登録] 画面に [PIN1 チェック] のボタンが表示され、IC 免許証リーダーに免許証をかざすことで免許証に設定されている PIN1 の照合ができます。 (照合時、連続して3回失敗すると、ICチップにロックがかかります)
免許証 PIN チェック [PIN1 使用しない]	測定時に PIN1 の照合を行いません。PIN1 が不明な方が多い場合は、こちらを選択してください。

※誤った PIN1 で3回測定しようとした場合、免許証の IC チップにロックがかかります。
 ロック解除には、警察署または免許証センターに行ってください。必要がございますので、
 設定には十分にご注意いただき、PIN1 が不明の場合には、PIN1 は使用しないでください。



免許証設定		
番号	名称	機能
3	免許証番号必須チェック [チェックする]	[ユーザー登録]に免許証番号が登録されていない場合、測定ができなくなります。また、登録した免許証番号が誤っていた場合も、同様に測定ができなくなります。
	免許証番号必須チェック [チェックしない]	[ユーザー登録]に免許証番号が登録されていない場合も、測定することができます。

例：『ユーザー登録』に免許証番号が登録されていない場合



例：『ユーザー登録』にIDが登録されていない場合



名称	機能
置き忘れ警告表示 [表示する]	IC 免許証リーダーでの認証確認後、免許証の置き忘れがないかのチェックをします。
置き忘れ警告表示 [表示しない]	警告を表示しません。
免許証不使用設定 [可]	IC 免許証リーダーを使用する、もしくは ID を手入力する、いずれかの方法で測定を開始することができます。
免許証不使用設定	IC 免許証リーダーを使用する場合のみ、測定を開始することができます。

例：免許証を置き忘れている場合



例：[免許証不使用設定] を [可] にした場合の測定開始前画面



例：[免許証不使用設定] を [否] にした場合の測定開始前画面



名称	機能
有効期限切れ測定可否 [可]	IC 免許証リーダーにかざした免許証の有効期限が切れている場合にも測定ができます。
有効期限切れ測定可否 [否]	IC 免許証リーダーにかざした免許証の有効期限が切れている場合には測定できません。

例：免許証の有効期限が切れていた場合には、メッセージが表示されます。

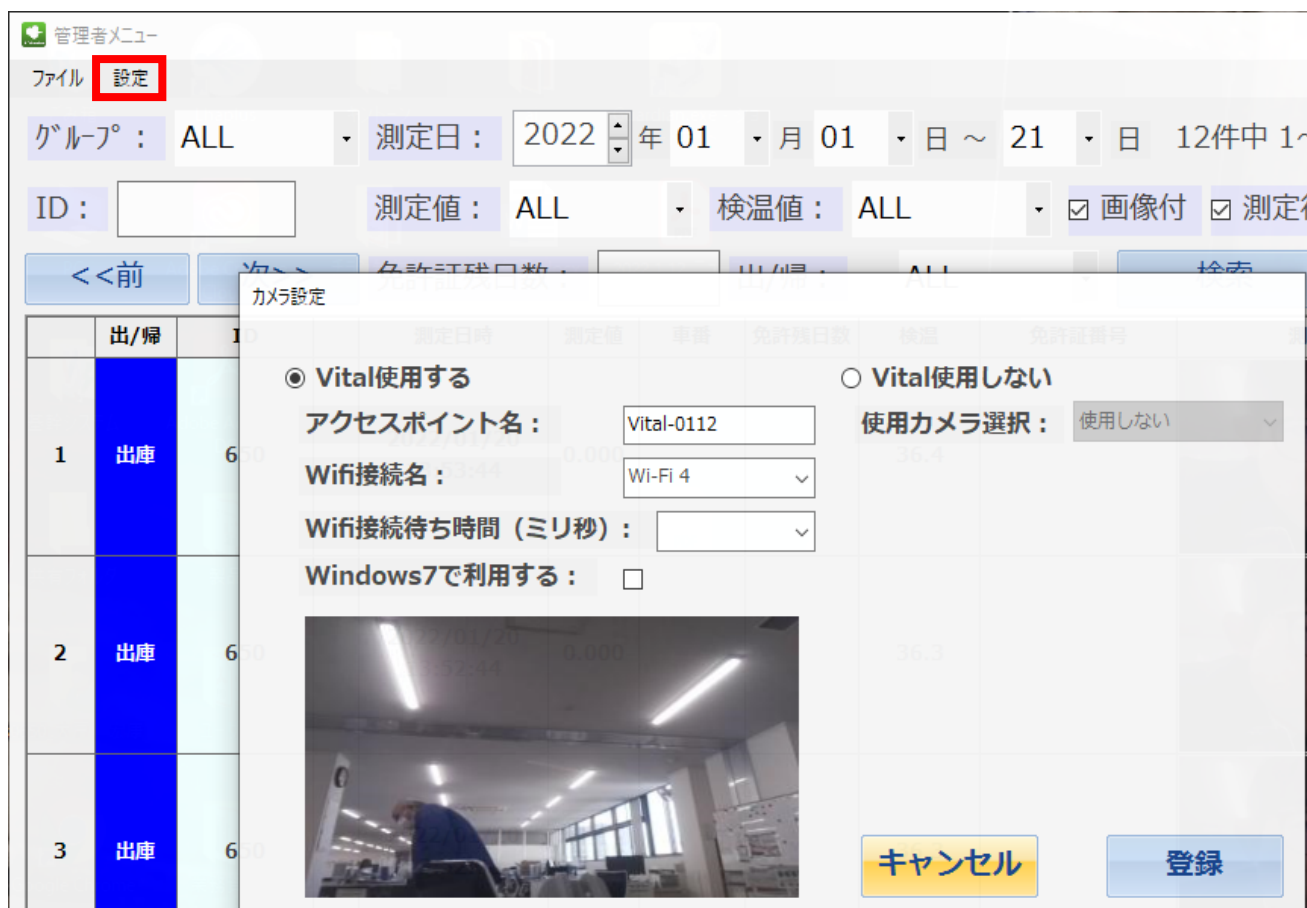


4-1-6. カメラ設定

①バイタルソフト左下の歯車マークをクリックします。



②設定からカメラ設定を選択



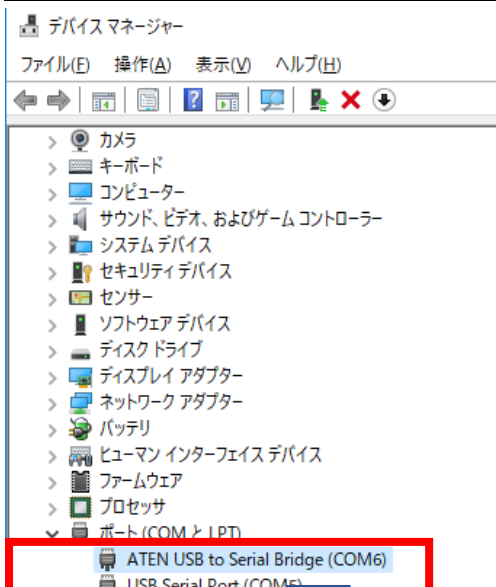
③アクセスポイント名に、1－2. ⑦で接続した名称が記入されていることを確認し、登録ボタンを押下します。アクセスポイント名に名称が記載されていない場合、Wi-Fi 接続を終えてから、再度設定画面を開いてください。

アクセスポイント名	Wi-Fi 子機の名称
Wi-Fi 接続名	Vital ソフトで接続させる Wi-Fi 番号
Wi-Fi 接続待ち時間 (ミリ秒)	Wi-Fi 子機を自動接続させるまでの秒数 (標準は空白)
Windows7 で利用する	Windows7 で利用する場合はチェックを入れる
Vital 使用しない	ALC Face Vital のカメラを使用しない場合にチェックを入れ、使用カメラを選択します。 ※この場合、検温はできません

4-1-7. その他の設定

その他設定	
ALC警報パトライトCOM番号：	使用しない ▾
ALC検知確認	する ▾
出庫/中間/帰庫チェック：	する ▾
音声案内：	しない ▾
中間点呼：	する ▾
測定結果表示秒数：	20 ▾
最前面設定：	しない ▾

名称	機能
ALC 警報パトライト COM 番号	ALC 警報パトライトをパソコンに接続後、デバイスマネージャーで確認した COM 番号を設定してください。 ※オプション品の ALC 警報パトライトをご利用の場合に必要な設定です。アルコール検知をした際に、音を出して知らせることができます。



その他設定	
ALC警報パトライトCOM番号：	COM6 ▾

名称	機能
出庫/中間/帰庫チェック [する]	オープン画面メッセージ欄に [テンキーの【出】(【中】)【帰】を選択してください] という表示がされます。
出庫/中間/帰庫チェック [しない]	【出】(【中】)【帰】を選択する表示はされません。

非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）

音声案内 [する]	パソコン音源からの音声案内を有効にします。アルコールを検知した場合、ブザーになります。 ※検知器の音声案内もご利用していた場合は、音声が二重になります。
音声案内 [しない]	パソコン音源からの音声案内を無効にします。
中間点呼 [する]	[出庫] [帰庫] に加え、[中間] も選択できるようになります。
中間点呼 [しない]	[中間] は表示されず、[出庫]「帰庫」のみの選択になります。
測定結果表示秒数	測定結果画面を表示する秒数を選択します。
最前面設定 [する]	一定時間経過すると、Vital のオープン画面が最前面に表示されます。
最前面設定 [しない]	一定時間経過しても、Vital のオープン画面は最前面に表示されません。

※1 番右にスクロールすると生年月日の項目が出てきます。

ユーザー設定		
番号	名称	機能
1	ID	検索したい ID を入力します。
2	グループ(選択)	検索したいグループを選択します。
3	検索	入力した条件で検索します。
4	ID	測定者 ID を入力します。
5	氏名	測定者名を入力します。
6	車番	担当の車番がある場合に入力します。
7	有効期限	免許証の有効期限を入力します。
8	交付日	免許証の交付日を入力します。
9	PIN1	免許証の PIN1 を入力します。
10	免許証番号	免許証番号を入力します。
11	グループ(所属)	所属するグループ名を表示します。
12	行挿入	行を追加します。
13	行削除	選択した行を削除します。
14	印刷	ユーザー設定を印刷します。
15	免許証読込	IC 免許証リーダーに免許証をかざし、[有効期限] [交付日] を取得します。 ※IC 免許証リーダーを利用されている場合にのみ使用可能です。
16	CSV 出力	ユーザー設定を CSV ファイルで出力します。
17	CSV 取込	ユーザー情報が入った CSV ファイルを取り込みます。
18	キャンセル	設定内容を保存せず、ユーザー設定画面を閉じます。
19	保存	入力した情報を保存します。
20	生年月日	生年月日を 8 桁の半角数字で入力します。

4-2-1. ユーザーの登録方法

IDの項目を選択し、IDを入力します。その後、氏名の項目を選択し、氏名を入力します。

グループ項目を選択し、グループを指定します。（グループ表示させたい場合）

IC免許証リーダーを使用しない場合は、[有効期限] [交付日] [PIN1] [免許証番号]を入力せず、[保存]を押します。

4-2-3. グループの検索方法

検索したいグループを選択し、[検索] を押すと、該当するグループに所属するユーザー情報が表示されます。

ユーザー設定

ID : グループ° :

ID	氏名	車番	有効期限	交付日	PIN1	免許証番号	グループ
999	サンコー太郎						グループ1
9999	サンコー花子						グループ2



ユーザー設定

ID : グループ° :

ID	氏名	車番	有効期限	交付日	PIN1	免許証番号	グループ
999	サンコー太郎						グループ1

4-2-4. 行挿入の方法

追加したい行にカーソルを合わせ、[行挿入] を選択することで、行が追加されます。

ユーザー設定

ID : グループ° :

ID	氏名	車番	有効期限	交付日	PIN1	免許証番号	グループ
999	サンコー太郎						グループ1
9999	サンコー花子						グループ2



ユーザー設定

ID : グループ° :

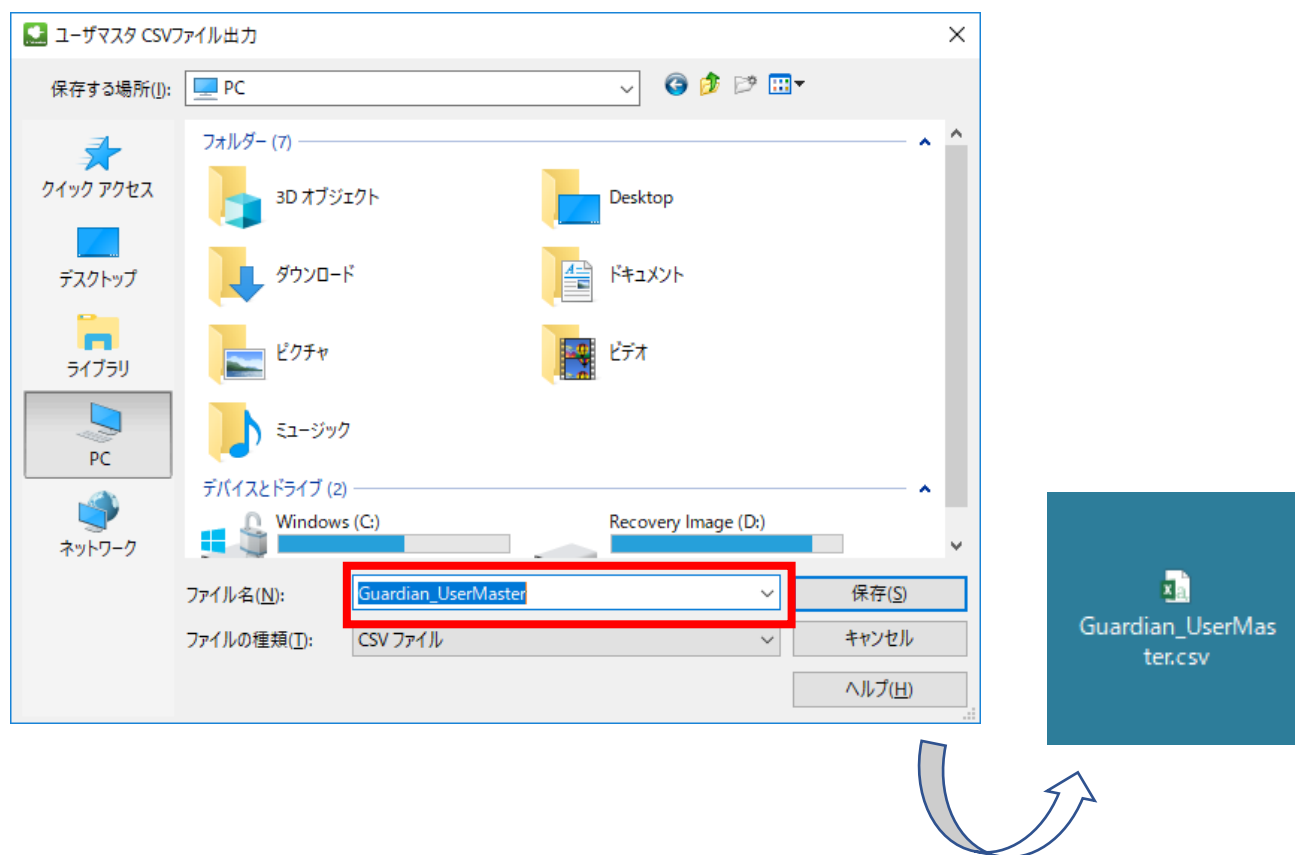
ID	氏名	車番	有効期限	交付日	PIN1	免許証番号	グループ
999	サンコー太郎						グループ1
9999	サンコー花子						グループ2

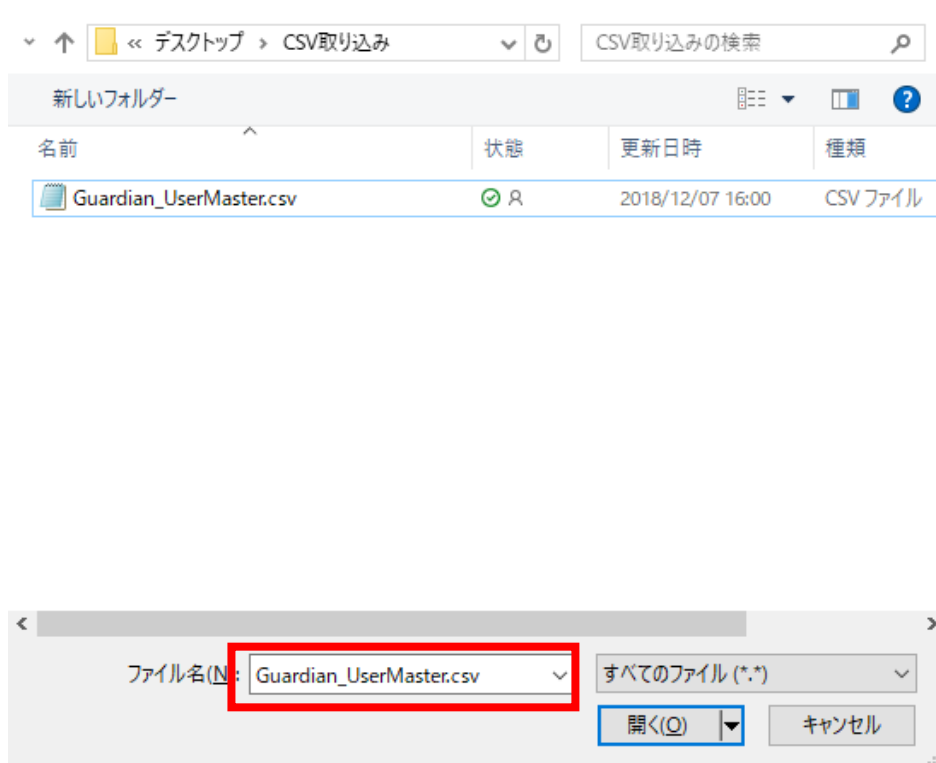
4-2-5. CSV 出力の方法

[CSV 出力] をクリックし、CSV ファイルの保存先を指定します。

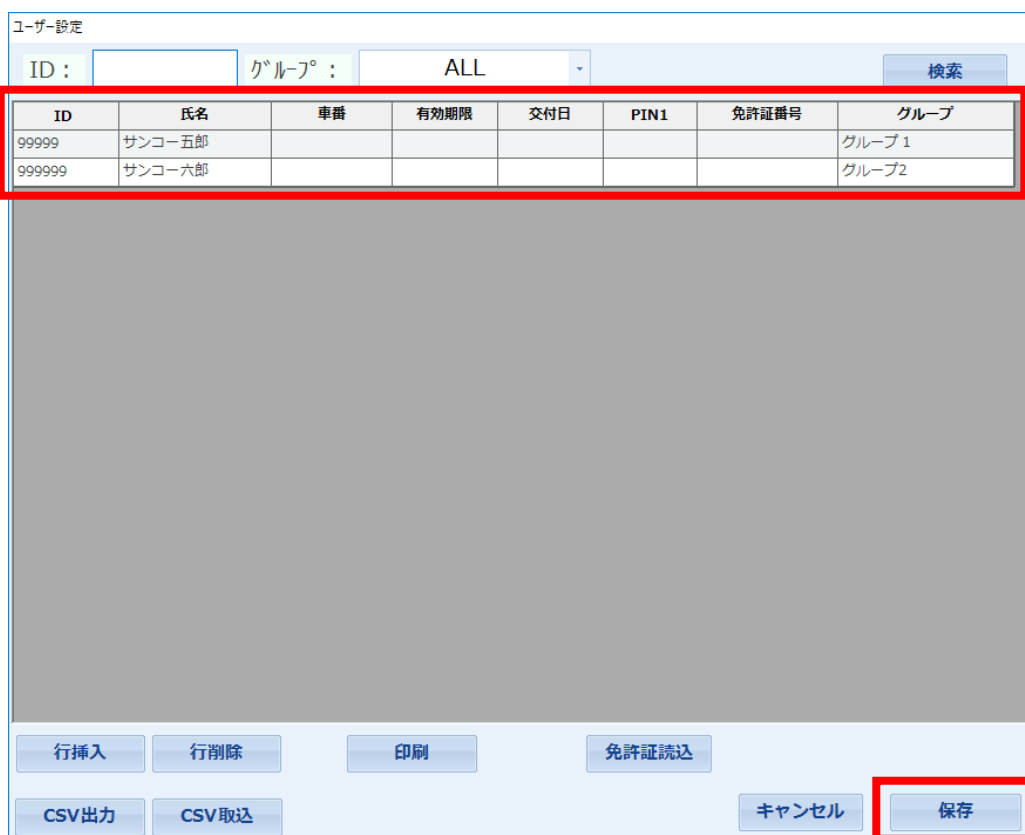


指定した保存先に CSV ファイルが出力されます。



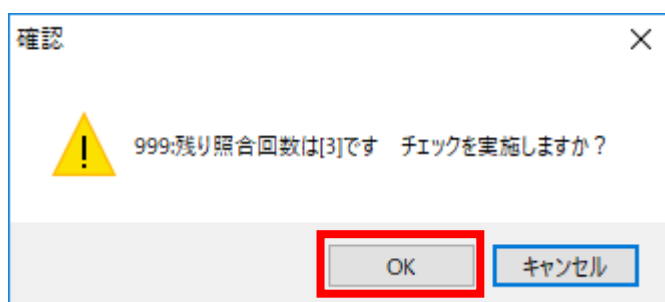


CSV ファイルに登録されていた情報が反映され、ユーザー情報が書き換わり、[保存] を押すと変更内容が保存されます。



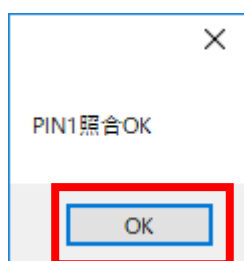
非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）

免許証の残り照合回数が表示されます。照合を開始する場合には、[OK] を押します。



入力した PIN1 が正しい場合には、[PIN1 照合 OK] と表示されます。

その後、[OK] を押下することで照合が完了し、[氏名] [有効期限] [交付日] [免許証番号] の情報が書き換わります。



ユーザー設定

ID : グループ° :

ID	氏名	車番	有効期限	交付日	PIN1	免許証番号	グループ	↑
99999	サンコー五郎		20200101	20180101	****	111111111111	グループ1	
999999	サンコー六郎						グループ2	

4-3. メール設定

測定結果をメールで送信することができます。

送信する場合には、各項目に設定条件を入力してください。

メール設定

SMTPサーバー：

SMTPポート：

SSL：

SMTP認証：

SMTP ID：

SMTP PW：

送信元：

設定1 設定2 設定3

送信タイプ：

宛先(TO)：

宛先(CC)：

タイトル：

測定画像送付：

POP BEFORE SMTP：

POPサーバー：

POPポート：

キャンセル 送信テスト 登録

メール設定	
名称	機能
送信タイプ	[送信しない] …メールを送信しません。 [反応あり] …アルコール反応が検出された場合にのみメールを送信します。 [全て] …アルコール反応の検出結果に関わらず、測定結果を全件メール送信します。
SMTP サーバー	SMTP サーバー名を設定します。
SMTP ポート	ポート番号を選択してください。
SSL	SSL を使用する場合は、[する] を選択してください。
SMTP 認証	SMTP 認証が必要な場合は、[する] を選択してください。
SMTP ID	SMTP ID を設定します。
SMTP PW	SMTP パスワードを設定します。

非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）

送信元	メール送信元のメールアドレスを登録します。
宛先	メール送信先のメールアドレスを登録します。
タイトル	メールの件名を登録します。
測定画像送付	[する] …測定画像を添付します。 [しない] … [カメラ設定] を [使用しない] に設定した場合は、こちらを選択してください。
POP BEFORE SMTP	SMTP に利用者認証を付加します。
POP サーバー	POP サーバー名を設定します。
POP ポート	POP ポートを設定します。
キャンセル	設定内容を保存せず、メール設定を閉じます。
送信テスト	メールの送信テストを行います。
登録	入力した情報を登録します。

メール設定

SMTPサーバー :

SMTPポート :

SSL :

SMTP認証 :

SMTP ID :

SMTP PW :

送信元 :

設定1 設定2 設定3

送信タイプ :

宛先(TO) :

宛先(CC) :

タイトル :

測定画像送付 :

POP BEFORE SMTP :

POPサーバー :

POPポート :

キャンセル 送信テスト 登録

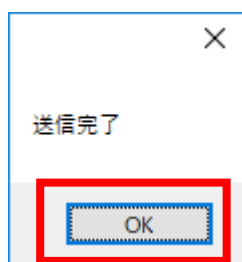
送信タイプで『ALC 反応あり』、『検温警告あり』、『全て』の三種類から選択することが可能です。

4-3-1. 送信テストの方法

[送信テスト] を押下すると、テスト送信することができます。



送信が完了した場合、[送信完了] という表示がされますので、[OK] を押してください。



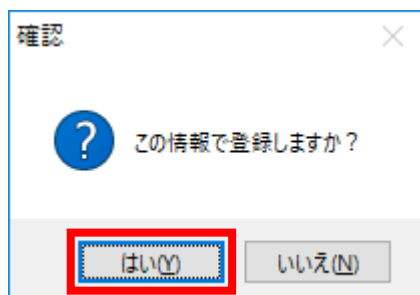
宛先に設定されているメールアドレスにメールが届いているか、確認をしてください。

※送信テストイメージ

件名: Guardian 警報
差出人: taro.s@sanko-techno.co.jp
メッセージ: 送信テスト

送信テストが正常に行われたことを確認後、[登録] を押して、設定を保存してください。

[この情報で登録しますか?] というメッセージが表示されますので、[はい] を押して完了となります。



登録完了後、測定結果がメール送信されるようになります。

※転送イメージ

件名: Guardian 警報
差出人: taro.s@sanko-techno.co.jp
メッセージ: ID:999 氏名:サンコー太郎のアルコール測定結果は[0.000]です。 -----

4-4. パスワード設定

4-4-1. パスワードの設定方法

各種設定変更時にパスワードを設ける場合には、[パスワード設定] よりパスワードを登録してください。

パスワード設定

登録するパスワードを8桁以内で入力してください

パスワード: ****

再入力: ****

キャンセル 入力完了

[パスワード] [再入力] 欄に8桁以内の文字を入力し、[入力完了] を押すことで設定が完了します。

4-4-2. パスワードを変更する場合

[パスワード設定] より、登録しているパスワードを入力します。

パスワード入力

パスワードを入力してください

キャンセル 入力完了

再度、[パスワード設定] を開くと、設定画面が表示されますので、新しく登録したいパスワードを [パスワード] [再入力] 欄に入力します。

※パスワード設定を無効にしたい場合は、[パスワード] [再入力] 欄を空欄にして [入力完了] を押してください。

◇第4部 測定方法・エラーについて

第1章 測定方法

1-1. 測定前に確認すること

Vital の測定を開始する前に、以下の項目を確認してください。

1-1-1. 呼気アルコール検知器 ST-3000

- ① コンセントは接続されていますか？ check
- ② 電源は [ON] になっていますか？ check
- ③ USB ケーブルは接続されていますか？ check
- ④ DC ケーブルは本体に接続されていますか？ check
- ⑤ ST-3000 デバイスは認識されていますか？ check
- ⑥ COM ポート番号は間違っていないですか？ check



※呼気アルコール検知器本体裏面

1-1-2. 非接触検温システム Vital

- ① Wi-Fi カメラの子機が USB ハブにちゃんと接続されていますか？ check
- ② デバイスマネージャーを確認し、カメラは認識されていますか？ check
([デバイスマネージャー] より、[イメージングデバイス] を選択し、使用するカメラが表示されていれば、正常に認識されています)
- ③ カメラ設定は間違っていないですか？ check

1-1-3. IC 免許証リーダー (IC 免許証リーダーをご利用の場合)

- ① USB ケーブルは接続されていますか？ check
- ② ドライバーのインストールは完了していますか？ check
- ③ IC 免許証リーダーデバイスは認識されていますか？ check



※設定が完了していない場合、オープン画面左下に免許証リーダーのマークが赤く表示されますので、再度①～③をご確認ください。

1-1-4. テンキー（テンキーを利用し、ID 入力する場合）

①USB ケーブルは接続されていますか？ check

1-2. 測定開始

測定を開始する方法は2通りございます。



①ID 入力による測定開始

付属のテンキーを使用し、出庫の場合は [出]、中間の場合は [中]、帰庫の場合は [帰] を選択してください。

②IC 免許証リーダーによる測定開始

付属のテンキーを使用し、出庫の場合は [出]、中間の場合は [中]、帰庫の場合は [帰] を選択してください。このとき、[環境設定] の [免許証設定] より、[IC 免許証リーダー使用] が [使用する] に設定されている場合、IC 免許証リーダーの画面が表示されます。画面表示後、免許証を IC 免許証リーダーにかざしてください。

※免許証の有効期限と交付日が同一の測定者がいる場合、氏名選択画面が表示されますので、測定者を選び、[Enter] を押下してください。



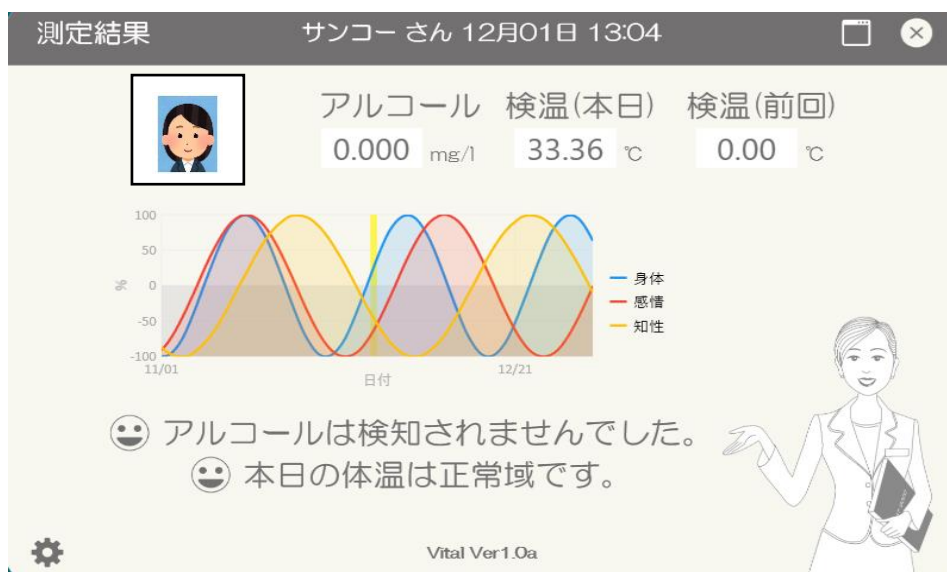
この画面になったら 10 秒以内に 5 秒間呼気を吹き込み続けてください。

1-3. 測定終了

1-3-1. アルコールが検出されなかった場合

アルコールが検出されなかった場合は、測定終了後、メッセージ表示欄に「アルコールは検出されませんでした」と表示されます。また、設定してある閾値内の温度であれば「本日の体温は正常域です」と表示されます。線グラフは登録した生年月日に基づいてバイオリズムが示されています。

バイオリズム表示にマウスでポインターをあてると、1日ごとのバイオリズムが表示されます。



1-3-2. アルコールが検出された場合

アルコールが検出された場合は、アルコール測定値が赤く表示され、メッセージ表示欄に「アルコールが検知されました 管理者に報告してください」と表示されます。このとき、音声案内を [する] に設定した場合、警報音が鳴ります。また、ALC 警報パトライトをご利用の場合も、警報音が鳴ります。アルコール測定値を確認後、[確認] を押すことで、次の測定を行うことができます。

1-4. 測定結果の表示

オープン画面左下の歯車マークをクリックすると、測定結果が一覧で表示されます。また、指定の条件で測定結果を検索することができます。

出/中/帰	ID	測定日時	測定値	車番	免許残日数	検温	免許証番号	測定画像
1 出庫	111	2021/12/01 13:06:37	0.000			35.36		
2 出庫	111	2021/12/01 13:04:55	0.000			33.36		
3 出庫	111	2021/12/01 09:46:21	0.000			35.22		

名称	機能
グループ	グループを選択します。
測定日	測定日を指定します。
ID	ユーザーIDを指定します。
測定値	[ALL] [反応なし] [反応あり] より選択します。
出/帰	[ALL] [出庫] [(中間)] [帰庫] より選択します。
《前/次》	ページが移動します。
免許証残日数	入力した数値よりも免許証の有効期限残日数が少ない結果を表示します。
検温	検温の結果の数値を示します。
測定後更新 [チェックあり]	測定済みの結果を自動的に反映させます。
測定後更新 [チェックなし]	測定済みの結果は自動的に反映されません。
画像付き [チェックあり]	一覧表示ですべての測定画像が表示されます。
画像付き [チェックなし]	すべての測定画像は表示されず、選択した測定結果のみ測定画像が表示されます。
検索	指定した条件で検索を開始します。

第2章 出力方法

2-1. 印刷

測定結果画面の [ファイル] より、[印刷] を押すと、測定結果を印刷することができます。

※検索条件を設定していた場合、条件で絞り込まれた測定結果のみを印刷することができます。

2-1-1. 「測定日」による条件設定で印刷する場合

「2018年11月01日～30日」の測定結果を印刷する場合、「測定日」を設定し、「検索」を押します。

測定結果画面の検索条件設定と検索結果の表示例。

検索条件: グループ: ALL, 測定日: 2018年11月01日～30日, ID: , 測定値: ALL, 出/中/帰: ALL, 免許証残日数: , 測定後更新: , 画像付き:

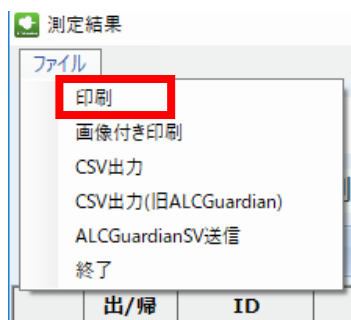
出/中/帰	ID	氏名	測定日	測定値	車番	免許証残日数	免許証番号	測定画像
1 帰庫	9999	サンコー花子	2018/11/30 15:19:01	0.000				
2 出庫	9999	サンコー花子	2018/11/30 15:17:30	0.057				

非接触検温システム ALCFaceVital 取扱説明書（第4版）

「2018年11月01日～30日」までの測定結果のみが表示されます。

出/中/帰	ID	氏名	測定日	測定値	車番	免許残日数	免許証番号	測定画像
1 帰	9999	サンコー花子	2018/11/30 15:19:01	0.000				
2 出	9999	サンコー花子	2018/11/30 15:17:30	0.057				
3 帰	999	サンコー太郎	2018/11/30 15:16:36	0.262			11111111111111	
4 出	999	サンコー太郎	2018/11/30 15:15:56	0.000			11111111111111	

左上メニューの [ファイル] より、[印刷] を押します。



印刷プレビュー画面が表示されますので、[印刷] を押下すると印刷が開始されます。

日付	出/中/帰	氏名	ID	免許証番号	時刻	時刻	検定値(mv/l)	判定	備考
30	出	サンコー太郎	888	11111111111111	15:15		0.000	OK	
30	帰	サンコー太郎	888	11111111111111	15:18		0.262	NG	
30	出	サンコー花子	8888		15:17		0.057	NG	
30	帰	サンコー花子	8888		15:19		0.000	OK	

2-1-2. 「ID」による条件設定で印刷する場合

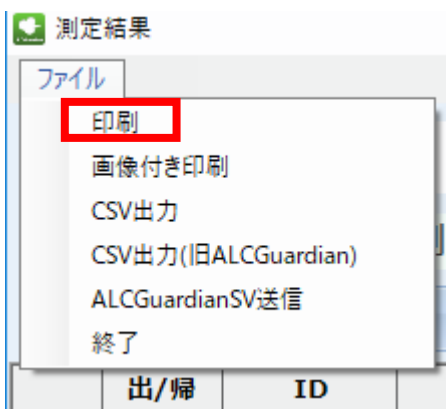
「ID：999」の測定結果を印刷する場合、[ID] 欄に 999 を入力し、[検索] を押します。
 (測定日の指定も行う場合は、[測定日] を設定します)



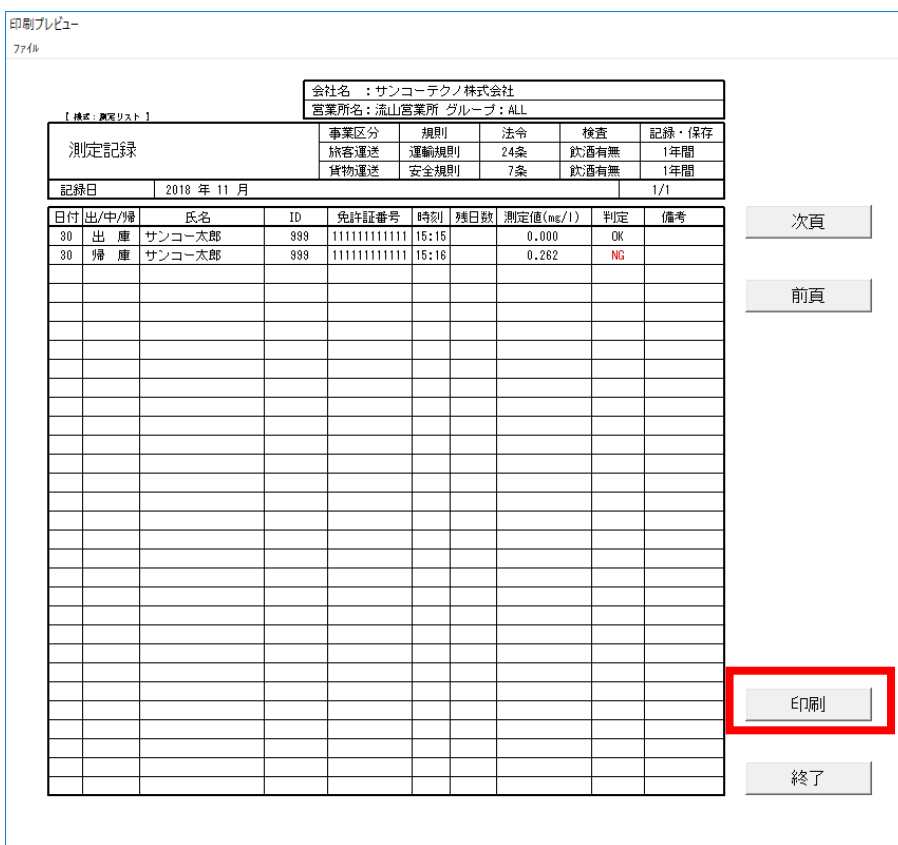
「ID：999」の測定結果のみが表示されます。



左上メニューの「ファイル」より、「印刷」を押します。



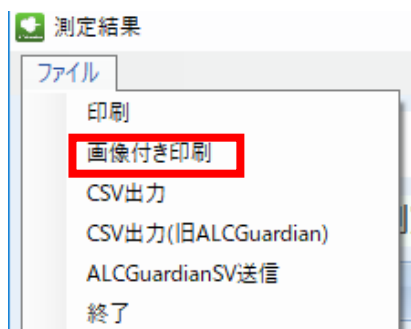
印刷プレビュー画面が表示されますので、「印刷」を押すと印刷が開始されます。



2-2. 画像付き印刷

「2-1. 印刷」と同じ手順で条件設定と検索を行った後、測定結果を測定画像付きで印刷することができます。

左上メニューの「ファイル」より、「画像付き印刷」を押します。



印刷プレビュー画面が表示されますので、「印刷」を押すと印刷が開始されます。

印刷プレビュー

会社名：サンコーテクノ株式会社
営業所名：流山営業所 グループ：ALL

測定記録	事業区分	規則	法令	検査	記録・保存
	旅客運送	運輸規則	24条	飲酒有無	1年間
	貨物運送	安全規則	7条	飲酒有無	1年間

記録日：2018年11月 1/1

日付/出中帰	ID/氏名/免許証/種日数	時刻	測定値(mg/l)/判定	画像
30 出庫	999 サンコー太郎 1111111111111111	15:15	0.000 OK	
30 帰庫	999 サンコー太郎 1111111111111111	15:16	0.262 NG	
30 出庫	9999 サンコー花子	15:17	0.057 NG	
30 帰庫	9999 サンコー花子	15:19	0.000 OK	

次頁

前頁

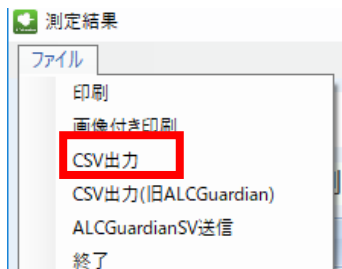
印刷

終了

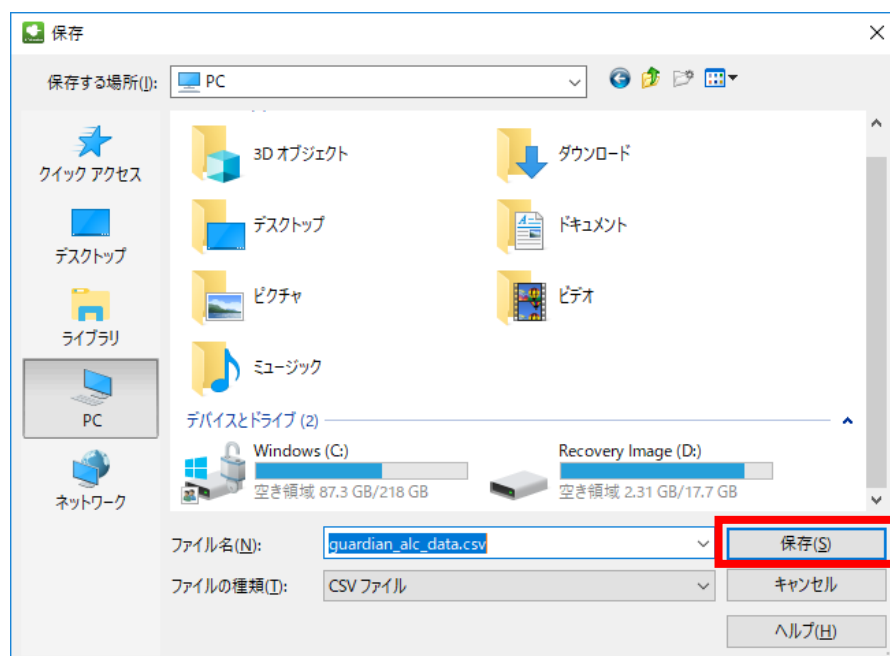
2-3. CSV 出力

「2-1. 印刷」と同じ手順で条件設定と検索を行った後、測定結果を CSV ファイルとして出力することができます。

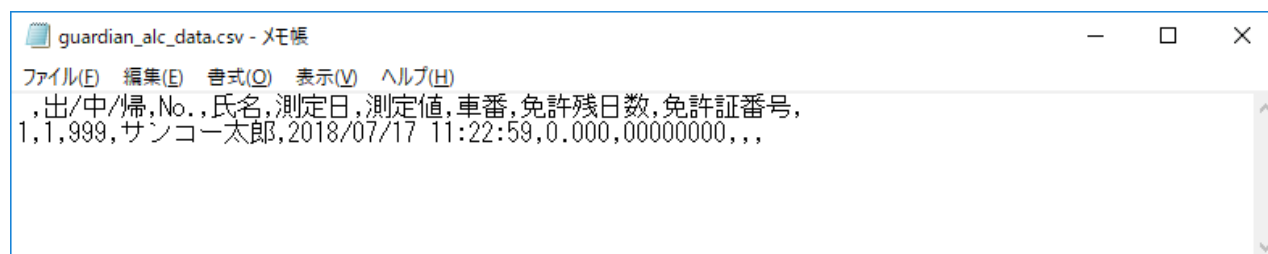
左上メニューの [ファイル] より、[CSV 出力] を押します。



ファイルの保存先を指定して、[保存] を押してください。



「guardian_alc_data.csv」というファイル名で CSV ファイルが出力されます。

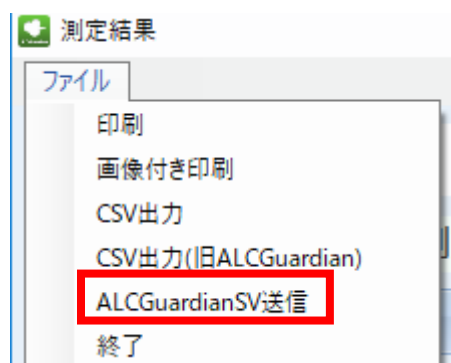


2-4. ALCGuardianSV 送信（一元管理ソフト ALCGuardianSV をご利用の場合）

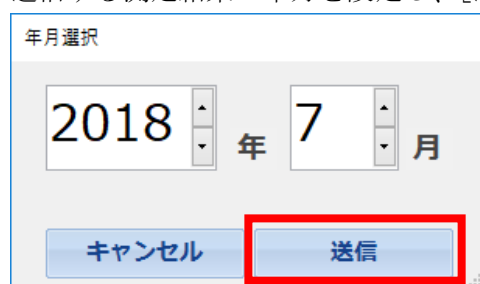
ALCGuardianSV へ測定結果を送信します。

※通常、ALCGuardianSV へ測定結果は自動送信されますが、送信が正常に行われなかった場合は、こちらの機能から手動で測定結果を送信することができます。

左上メニューの [ファイル] より、[ALCGuardianSV 送信] を押します。



送信する測定結果の年月を設定し、[送信] を押します。

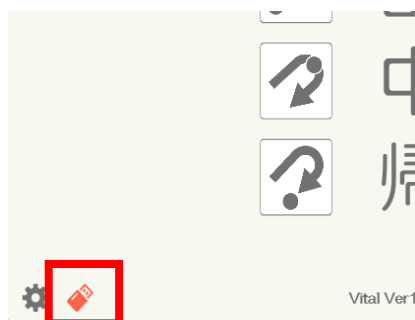


ALCGuardianSV を起動し、転送結果が送信されていることを確認してください。



第3章 エラーについて

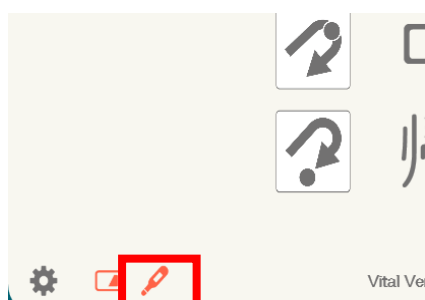
3-1. Vital エラー画面



左図のような USB マークが出ているときは Wi-Fi のカメラが上手く接続されていない状態です。



左図のような免許証マークが出ているときは IC リーダーが上手く接続されていない状態です。



左図のような温度計のマークが出ているときは Vital が上手く接続されていない状態です。



アルコール検知器と PC が上手く接続できていません。接続を見直してください。



吹きかけが不足しています。再度ブザーが鳴ったら5秒間しっかりと吹きかけてください



ブザーが鳴った後、しばらく吹きかけがなかった場合この画面になります。



アルコールが検知されました。管理者に報告したあと、時間をおいてうがいをしてから再度試してください。

3-2. よくある質問

①『飲酒していないのに、飲酒した判定が出る』

飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後に測定している可能性があります。飲食後 20 分以上経過した後うがいをし、再度測定してください。においがある場所で測定している場合は、場所を変えて測定してください。センサーモジュールを本器から取り外し、数回振って再度測定してください。点検キットや除菌グッズ、オーラルケアグッズなどアルコール成分を含んだものとセンサーモジュールを密閉された状態の中で保管している可能性があります。アルコール成分が含まれているものとセンサーモジュールと一緒に保管しないでください。一緒に保管をしていた場合は、数値が出なくなるまでに数時間～1 週間かかる場合があります。

②『アルコール検知器と PC が上手くできていない』

ケーブルがちゃんと接続されているか、電力不足がないか、アルコール検知器本体の電源がオンになっているか確認してください。また、USB の抜き差し、違うハブにさしてみるなども試してみてください。上記を試してみても改善されない場合、COMポートがずれている可能性があります。COMポート番号があっているか確認してください。それでも治らない場合、ケーブルまたはアルコール検知器本体の故障が考えられますので、弊社フリーダイヤルまでお問い合わせください。

③『ST-3000 画面内のバーグラフが全点減している』

センサー使用回数が 70000 回を超えている可能性があります。センサーモジュール交換時期を過ぎておりますので、速やかにセンサーモジュールの交換をお願いします。

※交換メンテナンスの時期に関しては、メンテナンス時期の約一か月前にご案内します。

※回収された旧センサーモジュールは、分解・分別してリサイクルします。

※センサーには寿命（一年間）がありますので交換してください。期間を過ぎますと保証外になります。

また、保証期間外に交換メンテナンスを実施する場合、基本費用 35000 円（税抜き）に再校正費用 10000 円（税抜き）を加算した、45000 円が交換費用となりますのでご了承ください。

④『Vital が起動できない』

設定ファイルが壊れている可能性があります。弊社までお問い合わせください。

3-3. アルコール検知器本体のエラー番号

Er00

ウォームアップエラーまたは通信エラーです。センサーモジュールを取りつけてから本器背面部の電源 ON/OFF スイッチで電源を入れなおしてください。改善されない場合は故障の可能性がありますので弊社までお問い合わせください。

Er01

START 表示してから 10 秒以内に吹きかけていない可能性があります。START 表示してから 10 秒以内に吹き込んでください。

Er02

吹きかけが不足していたり、吹きかけを途中でやめている可能性があります。しっかりと約 5 秒間吹き込んでください。

Er03

パスワードが正しく入力されていない可能性があります。正しいパスワードを入力してください。

※パスワードを忘れた際は、呼気アルコール検知器 ST-3000 取扱説明書「パスワードを初期化する」を参照してください。

Er04

Bluetooth 通信異常です。再度 Bluetooth 通信を設定してください。改善しない場合は弊社までお問い合わせください。

Er06

センサー使用回数が 75,000 回を超えている可能性があります。弊社までお問い合わせいただき、速やかにセンサーモジュールを交換してください。

※「Er06」が点灯するとセンサーモジュールを交換するまで測定できませんのでご注意ください。

※センサーモジュールの交換の場合は「センサーモジュール交換について」を参照してください。

Er09 Er11 Er12

システムエラーです。電源を入れなおし、改善されない場合は故障の可能性があります。

弊社までお問い合わせください。

※本器では Er05、07、08、10 は表示されません。

第4章 バイオリズムについて

4-1. バイオリズムとは

ユーザー登録画面で、誕生日登録を行うと、測定後の測定結果画面に、バイオリズムが表示されます。バイオリズムとは、人には一定の周期をもつ3つのリズム（身体、感情、知性）があると言われています。身体、感情、知性の3種類の波を用いて説明されることが多く、各リズムは誕生日を基準とする同じ振幅の正弦波として表され、身体リズムは23日、感情リズムは28日、知性リズムは33日の周期を持ちます。人の身体、感情、知性などは周期的パターンに沿って変化するという仮説、およびそれを図示したグラフで表示しております。「+方向」に振れていればそれが「高く安定している状態」を表わし、「-方向」に振れているときはそれが「低下して不安定な状態」になっていることを表します。

4-2. 3つのリズム

黄色の曲線：知性

「知性」：知力・思考力・記憶力・分析力・倫理力・判断力・集中力
「要注意日」：知力不安定・注意力・集中力・思考力が欠けやすいとき
普段より反応も鈍るので、運転には注意しましょう。

赤の曲線：感情

「感情」：感情・気分・神経・反射力・想像力・直感・共同意識
「要注意日」：情緒不安定、感情や神経が同様しやすい日。感情の揺れがあり不機嫌になりやすい。
この時期の運転には注意が必要です。

青の曲線：身体

「身体」：体力・耐久力・抵抗力・スタミナ・エネルギー
「要注意日」：体調不安定 この時期は体調不安定となりやすい時期です。
健康面では抵抗力が落ちやすいので注意が必要です。

4-3. 判断基準

- ・70～100%…絶好調期
- ・20～70%…好長期
- ・-70～-20%…低長期
- ・-100～-70%…不調期

さらにバイオリズムでいう注意日とは、山と谷の境目に曲線が来的时候（ちょうど±0に近づいているとき）の事。この時期にはリズムが急激に変化しているため「要注意日」とされています。あくまでご参考程度にさせていただき活用いただければ幸いです。

第5章 ご利用上の注意点

5-1. 測定に影響ある事項

①お肌が冷えている状態

体温が寒暖差になじんでから測定してください。

②顔を洗う、汗拭きシート等で顔を拭いた直後に測定

一時的に表面温度が下がります。室温になじんでから測定してください。

③汗をかいている状態での測定

汗で顔が冷えています。汗が引いてから、または汗を拭いて室温になじんでから測定してください。

④部屋の温度が低い・高い

室温 10 度から 40 度が測定への影響が少なく測定できます。

⑤マスク越しに測定する

顔表面温度を測定するため、マスク越しで測定しないでください。

⑥専用マウスピース以外での測定

使い捨てストローを使う等しないでください。

⑦検温センサーに影響を与える測定

マウスピースに手を添えて測定等、検温に悪影響を及ぼす行為はしないでください。

⑧顔の向きを正対せず測定する

カメラに正対して測定してください。

⑨生理現象

体温は起床時（朝）が一番低く、活動後半（夕方）が一番高いため起床後と活動後半では、体温の変化は1度以内で変わります。

⑩屋外または、太陽からの影響を受けている所に設置

太陽からの赤外線の影響を受けます。影響の出ない場所に設置してください。

誤った測定例

①マスク越しに測定



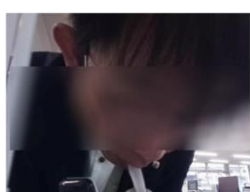
③手を添えて測定



②マスクを着けたまま測定



③下向きに測定



お問い合わせに関して

ご不明な点がある場合は、下記フリーダイヤルにお問い合わせください。

 **0120-071-735**

※受付時間 平日 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

お電話のみでの対応が難しい場合は、下記のいずれかの方法でご対応させていただきます。

① リモートアクセスソフト「TeamViewer」によるオンライン上での対応

リモートアクセスソフト「TeamViewer」を使用して、担当者が遠隔で操作させていただきます。

この方法をご利用する場合、まずは以下のサイトより「TeamViewer」のダウンロードをお願いいたします。

URL <https://st-alc.com/tvdl/>

② 訪問による対応

リモートアクセスソフト「TeamViewer」がご利用になれない場合は、後日、担当者が訪問し、対応いたします。

※この場合、訪問費用が発生いたしますのでご注意ください。

FUTUREX
EMPATHY

「管理」から「守る」へ…未来につなぐ

サンコーテクノ株式会社

機能材本部 セールスグループ / 〒270-0107 千葉県流山市西深井 1028-14

 **0120-071-735**

FAX 04-7155-6325 **URL** <http://st-alc.com/>